

永久歯の抜歯原因調査 報告書

平成17年3月

財団法人 8020推進財団

概要

・目的

全国の歯科医院における抜歯処置とその主原因等を調査することにより、歯の喪失の実態と原因について全国的な状況を把握する。

・調査方法

・対象：

日本歯科医師会の一般会員名簿から抽出率 1/10 で順序抽出し、(財)8020 推進財団が 1 年前に実施した関連調査の対象者を除いた 5,131 名の歯科医師。

・調査方法：

郵送法による質問紙調査。

2005 年 2 月 1 日(火曜日)～ 2 月 7 日(月曜日)に実施。

調査項目は、歯科医院・歯科医院長の属性、調査期間中における診療有無等、抜歯症例に関する情報(患者属性、抜歯部位、抜歯の主原因など)等。抜歯症例がなかった場合も回答を求めた。

回収率：39.1%(回収数 2,001、有効発送数 5,116)

・分析方法：

サンプルの特性に関する分析、基礎統計量の算出、クロス集計(現在歯数との関連)全国における年間喪失歯数の推計

・結果および考察

・対象者の属性：

歯科医師の平均年齢は 51 歳。診療所あたりの歯科医師数は 1.3 人、歯科衛生士数 1.5 人。歯科衛生士数が全国平均よりも多く、比較的規模の大きな歯科医院に偏っていた。

・抜歯症例：

抜歯総数は 9,350 歯。60-64 歳が最多。男女差なし。

患者数は 7,499 名で一人平均抜歯数は 1.25 本。

歯科医院あたりの抜歯数は 4.67 本。

・抜歯の主原因：

歯周病 42%、う蝕 32%、その他 13%、破折 11%、矯正 1%の順で、近年行われた各地の調査結果とほぼ一致していた。

・現在歯数との関連：

現在歯数が少ないほど歯周病による抜歯が多く、また患者一人平均抜歯数も多くなる傾向が認められた。

・歯の喪失に関する推計：

本調査で得られた結果をもとに 1 年間で失われる歯の総数と 1 人あたり平均値の粗推計値を算出したところ、それぞれ 1,460 万本、0.11 歯/人・年であった。今後、サンプル代表性の検討を進め、より精度の高い推計を行っていく予定である。

・本調査は今後定期的に継続実施していくことにより、より価値の高い情報が得られるので、今後、継続実施が望まれる。

作業班メンバー

安藤雄一（国立保健医療科学院・口腔保健部）

相田 潤（北海道大学大学院歯学研究科）

森田 学（北海道大学大学院歯学研究科）

青山 旬（栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部）

増井峰夫（神奈川県歯科医師会）

目 次

1 . 背景と目的	1
2 . 方法	2
1) 対象	2
2) 調査方法	2
3) 分析方法	5
4) 倫理審査	5
3 . 結果および考察	6
1) サンプル特性に関する分析	6
2) 抜歯数に関する基礎統計量	9
3) 抜歯原因等に関する基礎統計量	14
4) クロス集計	21
5) 全国における年間喪失歯数の推計	23
6) 1人あたり現在歯数に関する将来予測	24
4 . 考察	26
1) サンプル特性について	26
2) 抜歯数に関するデータの解釈について	27
3) 抜歯の主原因	28
4) 今後の展望	29
5 . 謝辞	30
6 . 文献	30
7 . 統計表	33
8 . 資料	53

1. 背景と目的

抜歯原因調査は、歯科医院における抜歯症例記録を質問紙に記入する方法で、調査方法が簡便で低コストで実施できるというメリットを有している。わが国では、1980年代半ばから全国各地で実施され¹⁻¹⁰⁾、歯の喪失原因について様々な情報が得られてきた。調査が開始された1980年代当時は、う蝕による抜歯が最も多かったが、その後、同じ地域で行われた再調査により、歯周病による抜歯の割合が最も多くなってきたことが報告され^{2,4,5,6)}、8020運動の貴重な情報源の1つとして定着してきたといえる。

しかしながら、歯周病による抜歯の割合が増えてきたという変化が、歯周病による抜歯が増えたことに由来するのか、或いはう蝕による抜歯が減ってきたことに由来するのかという点は、必ずしも明確とは言い難い。その理由として、わが国で従来行われてきた方法は、抜歯数の量的な把握に関して必ずしも十分な調査デザインではなかった点を挙げるができる。

従来、歯の喪失に関する統計は、厚生労働省歯科疾患実態調査に代表されるフィールド調査が主体であった。この調査で得られる歯の喪失に関する情報は、有病状況 (prevalence) であり、ある一時点における歯の喪失状況について詳細な情報を得ることができるが、歯の喪失がいつの時点で生じた現象なのかという情報は得ることができない。一般的に歯の喪失は数十年間かけて進行するため、フィールド調査で得られるデータは長い間の変化が反映した現象であり、必ずしも現時点の要因が反映されたものとは限らない。

したがって、この種の調査で得られる歯の喪失に関する年齢差は、真の年齢差とはいえず、時代的な影響が加味された差といえる。そのため、歯の喪失に関する将来的な見込みを得るための資料として捉えた場合、得られる情報は過去数十年分の蓄積であることから、現時点の変化を捉える資料としての有用性はそれほど高いとは言えない面がある。

歯の喪失は、そのほとんどが歯科診療室における抜歯処置を受けることにより発生する。そのため、従来行われてきた抜歯原因調査の方法論を少し改良して、調査期間内における抜歯数を明確にできれば、そのデータから一定期間中における喪失歯数を推計することが可能となり、日本全国における年間喪失歯数を求めるなど、一種の動態調査として活用することも可能となる¹¹⁾。実際、佐賀県では既に先駆的な試みが行われている¹²⁻¹³⁾。また、将来的な予測の精度も上昇することが期待される。

従来、わが国で実施されてきた抜歯原因調査は抜歯症例のみを回収していたため、歯の喪失の頻度を正確に把握することができなかった。これについては、調査対象とする歯科医院のサンプリングと調査期間を明確にすること、調査期間内に抜歯症例がなかったデータを把握すること等により対処が可能である。また、定期的を実施することにより、経年的な推移を捉えることも可能となる。

以上の点を踏まえ、(財)8020推進財団では、全国の歯科医院を対象とした永久歯抜歯原因調査を企画し、2005年2月に調査を実施した。

本調査は、わが国では初めての全国規模による抜歯原因調査であり、歯の喪失に関するより詳細な基礎資料を得ることが可能となる。さらに、今後定期的に継続実施していくことにより、その資料価値はさらに増していくものと予想できる。

本報告では、調査の内容と得られた主な結果について報告する。

2. 方法

本調査では、いままで行われたきた抜歯原因調査¹⁻¹⁰⁾と同様、歯科医院で抜歯処置を受けた患者の症例を質問紙に記録するという方法を用いた。

1) 対象

今回の調査では、一般の歯科診療所における永久歯の抜歯処置の実態を把握することを目的としていることから、標的集団を歯科診療所(歯科医院)とし、調査対象集団を日本歯科医師会の一般会員とした。

そこで、日本歯科医師会に依頼し、一般会員名簿(会員数 57,989 名、2004 年 11 月末現在)から抽出率を 1/10 とした順序抽出を行い、さらに 2004 年 3 月に行った「健康日本 21 関連 歯科医療施設調査」¹⁴⁾の対象者を除いた 5,131 名の歯科医師を調査対象とした。

日本歯科医師会の一般会員は、各歯科医院の代表者であり、同一医院に複数存在しないので、今回の調査における基本単位は個々の歯科医院とみなすことができる。

なお、同会の定款施行規則第 5 条第 2 項会員(診療所または病院に所属する会員のうち一般会員以外の会員)、終身会員(日本歯科医師会員に 30 年以上入会している 70 歳以上の会員)は除かれている(<http://www.jda.or.jp/>)。

2) 調査方法

調査方法は、郵送法による質問紙調査とした。

調査期間は、2005 年 2 月 1 日(火曜日)～ 2 月 7 日(月曜日)の 1 週間と定めた。この期間中に行われた抜歯処置などについて、予め郵送した質問紙(巻末:資料 1)への記入を依頼した。

調査項目(巻末:資料 1)は、回答者(歯科医院、歯科医院長)の属性、調査期間中における診療の有無等、抜歯症例に関する情報に大別される。概要は下記のとおりである。

- ・回答者(歯科医院、歯科医院長)の属性:

- 診療所の所在都道府県、標榜科名、歯科医師・歯科衛生士数(常勤)、院長の性・年齢

- ・調査期間中における診療に関する情報

- 調査期間(2005 年 2 月 1 日～ 2 月 7 日)における診療の有無・調査実施の有無・来院患者数

- ・抜歯症例に関する情報

- 調査期間中における抜歯症例の有無、抜歯処置が行われた日付、患者の属性(イニシャル、性、年齢、居住市区町村)、抜歯前の現在歯数と床義歯の状態(上・下顎別)、抜歯部位、抜歯に至った主原因(う蝕/歯周病/破折/矯正/その他)、抜去歯の状態(健全/う蝕/処置・充填/処置・冠)、抜去歯の歯髄の状態(有髄/無髄・根充なし/無髄・根充あり)、インフォームドコンセント(容易/困難)

調査票の回収に際して、調査期間中に抜歯症例がなかった場合も回収を求めた。また、抜

歯症例を記入する際には、同一の患者か否かを特定できるように記録した。記入方法の詳細は、巻末に示した資料2（調査票の記入要領）を参照されたい。

調査は、2005年1～2月に以下のスケジュールで実施した。

- ・1月17日(月) 都道府県歯科医師会長に協力依頼文書発送
- ・1月24日(月) 調査票発送
- ・2月1日(火)～7日(月) 調査実施期間
- ・2月14日(月) 回収(投函)締め切り日

督促状は発送しなかった。その理由は、本調査票に記入する作業は診療と並行して行われるため、督促状を出したとしても事後的に質問紙票へ記入することが困難と判断したためである。

調査票の回収状況を表1に示す。質問紙は、日本歯科医師会・一般会員5,131名に発送し、このうち15名には配達することができなかつたため、調査対象者数は5,116名となった。調査票が回収できたのは2,001名であり、回収率は39.1%であった。

表1. 調査票の回収状況

一般会員全体	57,989
調査対象者発送数	5,131
宛所不明で未配送	15
有効発送数	5,116
回収数	2,001
回収率	39.1%

図1（統計表1）に日付別にみた回収率を示す。調査期間（2005年2月1～7日）の終了後に回答数が急増し、締め切り日（2/14）の翌週には、ほぼ横ばいとなった。

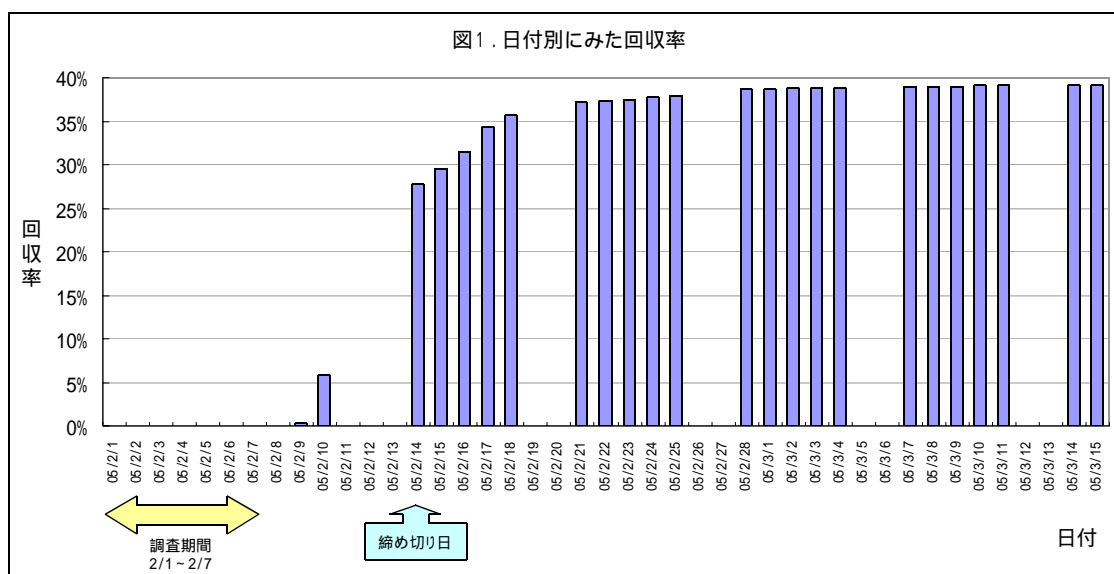


表2に都道府県別にみた回収状況を示す。都道府県単位でみた回収率の平均値の単純平均は44.0% (SD=10.7) 中央値は42.9%と、いずれも全体の加重平均値(39.1%)よりも大きかった。回収率を都道府県別にみると会員数の多い都道府県では回収率が低い傾向が認められ、会員数と回収率の相関係数は-0.46 (p<0.001)で、単回帰分析を行ったところ有意であった (p<0.01)。

表2. 都道府県別にみた回収状況

都道府県名	一般会員全体	調査対象者 発送数	宛所不明で 未配送	有効発送 数	回収数	回収率
1 北海道	2,706	248	3	245	83	33.9%
2 青森県	516	46	-	46	28	60.9%
3 岩手県	588	56	-	56	27	48.2%
4 宮城県	993	89	1	88	36	40.9%
5 秋田県	372	34	-	34	20	58.8%
6 山形県	421	35	-	35	15	42.9%
7 福島県	803	73	-	73	30	41.1%
8 茨城県	1,131	101	1	100	38	38.0%
9 栃木県	840	75	-	75	31	41.3%
10 群馬県	790	72	-	72	46	63.9%
11 埼玉県	2,138	193	-	193	67	34.7%
12 千葉県	3,399	261	-	261	82	31.4%
13 東京都	8,282	694	4	690	185	26.8%
14 神奈川県	3,327	306	-	306	100	32.7%
15 新潟県	1,020	95	-	95	39	41.1%
16 富山県	429	40	-	40	25	62.5%
17 石川県	434	38	-	38	19	50.0%
18 福井県	245	23	-	23	18	78.3%
19 山梨県	379	35	-	35	12	34.3%
20 長野県	896	79	1	78	35	44.9%
21 岐阜県	855	75	-	75	38	50.7%
22 静岡県	1,455	135	-	135	50	37.0%
23 愛知県	3,151	288	1	287	115	40.1%
24 三重県	692	63	-	63	24	38.1%
25 滋賀県	427	37	-	37	18	48.6%
26 京都府	1,076	102	-	102	39	38.2%
27 大阪府	4,584	417	2	415	126	30.4%
28 兵庫県	3,890	309	1	308	136	44.2%
29 奈良県	572	52	-	52	24	46.2%
30 和歌山県	504	46	-	46	16	34.8%
31 鳥取県	234	22	-	22	12	54.5%
32 島根県	244	23	-	23	12	52.2%
33 岡山県	857	79	-	79	25	31.6%
34 広島県	1,316	122	-	122	45	36.9%
35 山口県	590	51	-	51	15	29.4%
36 徳島県	392	36	-	36	17	47.2%
37 香川県	389	37	-	37	17	45.9%
38 愛媛県	627	59	-	59	34	57.6%
39 高知県	345	32	-	32	15	46.9%
40 福岡県	2,385	215	1	214	97	45.3%
41 佐賀県	339	31	-	31	16	51.6%
42 長崎県	672	62	-	62	25	40.3%
43 熊本県	656	58	-	58	29	50.0%
44 大分県	489	44	-	44	24	54.5%
45 宮崎県	417	40	-	40	19	47.5%
46 鹿児島県	732	67	-	67	22	32.8%
47 沖縄県	390	36	-	36	10	27.8%
都道府県名不明	-	-	-	-	45	0.9%
合計	57,989	5,131	15	5,116	2,001	39.1%

都道府県別にみた回収率の基礎統計量	平均値	44.0%
	標準偏差	10.7%
	最小値	26.8%
	25%値	35.8%
	50%値(中央値)	42.9%
	75%値	50.0%
最大値	78.3%	

3) 分析方法

分析は下記の手順で行った。

サンプルの特性に関する分析

歯科医院の属性、患者の属性について基礎統計量等を算出した。

基礎統計量の算出

(1) 抜歯数

本調査のデータの特徴の1つは、歯・患者・歯科医院という異なる3つの単位でデータが得られていることである。そこで、抜歯数について、歯単位・患者単位・歯科医院単位で分析を行った。

(2) 抜歯原因、抜去歯の状態、抜去歯の歯髄の状態、インフォームドコンセント

歯単位で基礎統計量について分析を行った。

クロス集計

下記の項目について、クロス集計を行った。

- ・ 現在歯数と抜歯原因との関連（年齢階級別）
- ・ 現在歯数と患者1人あたり抜歯数の関連（年齢階級別）

全国における年間喪失歯数の推計

本調査は一定期間中における全国代表サンプルを用いた調査であり、歯の喪失の大半が歯科医院における抜歯処置を通して発生することから、本調査データを用いて全国における年間喪失歯数の推計を行うことが可能である。そこで、本報告書では、本調査データ（年齢階級別抜歯数、回収率、調査対象者の抽出率、会員数）と関連する官庁統計（歯科診療所数：平成14年医療施設調査、推計人口：平成16年10月）を用いて、1年間における喪失歯総数および一人平均年間喪失歯数の粗推計値を求めた。

さらに、この粗推計値を用いて1人あたり現在歯数に関する将来予測を行った。

4) 倫理審査

本研究は国立保健医療科学院の研究倫理審査の承認を受けた（NIPH-IBRA 05003）。

3. 結果および考察

1) サンプル特性に関する分析

歯科医院(歯科医院長)の属性

表3に回答者の基本属性と全国統計との比較を示す。

回答者の性比は大半が男性(94%)で、全国統計(平成14年医師歯科医師薬剤師調査:診療所の開設者)¹⁵⁾とほぼ同じであった。

平均年齢は50.7歳(SD=9.4, range: 29 ~ 85)で、全国統計(2002年医師歯科医師薬剤師調査:診療所の開設者)¹⁵⁾とほぼ同じであったが、分布の形状はやや異なり、本調査は全国統計に比べると若い歯科医師と高齢歯科医師の割合が少なかった(図2、統計表2)。

標榜科名の割合は、歯科97.6%、小児歯科40.3%、矯正歯科18.7%、口腔外科12.1%で、全国統計(平成14年医療施設調査)に比べ矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科が若干少なかった(表3)。

歯科医師数および歯科衛生士数の平均値は、それぞれ1.32、1.54であり、全国統計(平成14年医療施設調査)に比べて歯科医師数はほぼ同じ、歯科衛生士数は本調査のほうが多かった(表3)。

表3. 回答者の基本属性(全国統計との比較)

		本調査		全国統計		出典
		人数	%注	人数	%注	
性別	男	1,635	94.0%	53,609	92.8%	平成14年 医師歯科医師薬剤師調査
	女	105	6.0%	4,175	7.2%	
	不明	261	-	0	-	
	計	2,001	-	57,784	100.0%	
年齢	N	1,727		57,784		平成14年 医師歯科医師薬剤師調査 (診療所の開設者)
	平均	50.7		51.1		
	SD	9.4				
	10%値	27				
	25%値	41				
	50%値	56				
	75%値	67				
90%値	79					
標榜科名	歯科	1,697	97.6%	63,923	98.2%	平成14年医療施設調査
	小児歯科	700	40.3%	29,438	45.2%	
	矯正歯科	326	18.7%	16,670	25.6%	
	口腔外科	211	12.1%	11,162	17.2%	
	不明	262	-	0	-	
	計	2,001	-	65,073	-	
マンパワー	歯科医師数	回答(+)者数	1,725		1.26	平成14年医療施設調査
		平均	1.32			
		SD	0.77			
		10%値	1			
		25%値	1			
		50%値	1			
		75%値	1			
	90%値	2				
	95%値	2				
	歯科衛生士数	回答(+)者数	1,528		0.92	
		平均	1.54			
		SD	1.37			
		10%値	0			
		25%値	1			
50%値		1				
75%値		2				
90%値	3					
95%値	4					

注: 分母から不明を除外して算出

図2. 対象者(歯科医院長)の年齢階級別分布(全国統計との比較)

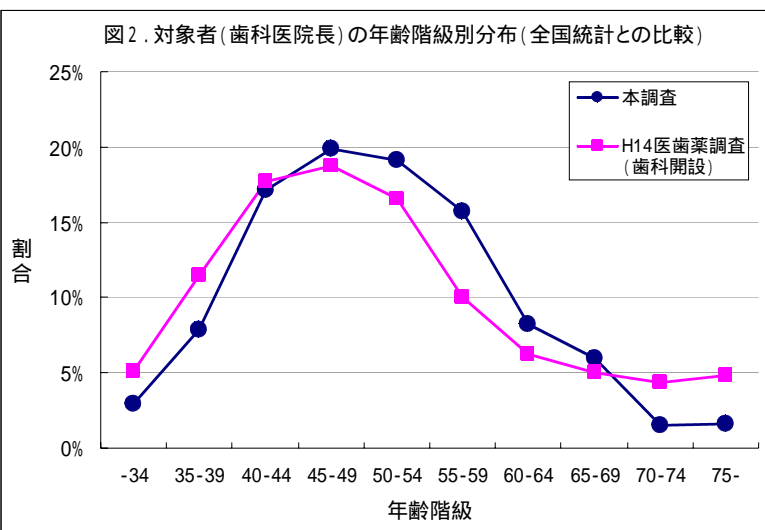


表4は診療・調査の有無と患者数の分布を各調査日ごとに示したものである。

診療の有無は、2月4日（木曜日）に診療していた割合が約3分の2、2月6日（日曜日）が4%と少なかった。その他の日は9割以上が診療を行っていた。また、診療の有無および調査の有無は無回答の割合が多かった。

患者数は診療を行っていた場合の基礎統計量を示した（表4）。各調査日の平均値は20.6～28.7、中央値は13.5～25で、分布の形状は各調査日ともに対数正規分布様であった。

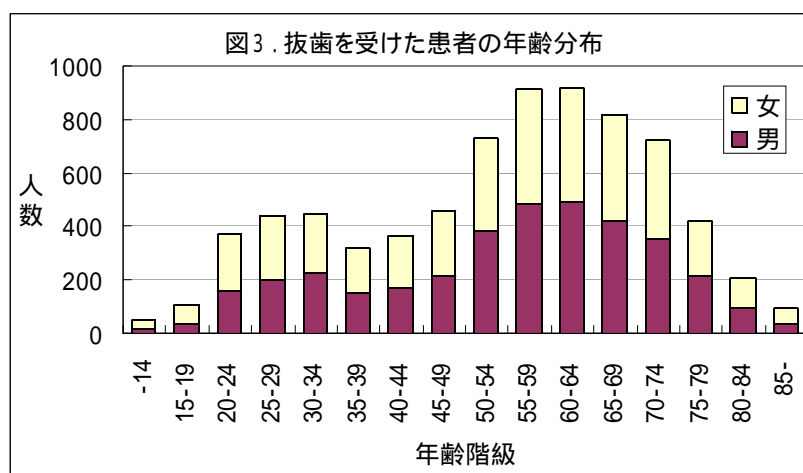
表4. 診療・調査の有無と患者数

		2月1日 火曜日	2月2日 水曜日	2月3日 木曜日	2月4日 金曜日	2月5日 土曜日	2月6日 日曜日	2月7日 月曜日
診療の有無	あり	1,675	1,596	1,098	1,675	1,570	65	1,668
	なし	27	105	577	23	117	1,553	25
	無回答	299	300	326	303	314	383	308
	計	2,001	2,001	2,001	2,001	2,001	2,001	2,001
	あり(%) [#]	98.4%	93.8%	65.6%	98.6%	93.1%	4.0%	98.5%
調査の有無	あり	1,446	1,366	917	1,418	1,287	39	1,400
	なし	146	223	702	159	279	1,629	139
	無回答	409	412	382	424	435	333	462
	計	2,001	2,001	2,001	2,001	2,001	2,001	2,001
	あり(%) [#]	90.8%	86.0%	56.6%	89.9%	82.2%	2.3%	91.0%
患者数 (分母 =診療 あり)	N	1,601	1,528	1,053	1,602	1,500	62	1,577
	平均	24.78	23.78	21.79	27.97	21.87	20.58	28.68
	SD	16.41	16.54	16.00	17.14	16.20	36.88	17.90
	最小値	0	0	0	0	0	0	0
	25%値	15	13	11	17	12	0	18
	中央値	22	21	19	25	19	13.5	25
	75%値	32	31	29	36	28	21	36
	90%値	43	41	39	48	39.5	40	48
	95%値	52	49	49	56	48	64	57
	最大値	246	266	183	248	195	253	254
合計	39,669	36,331	22,947	44,814	32,805	1,276	45,232	

[#] 無回答を除外して算出

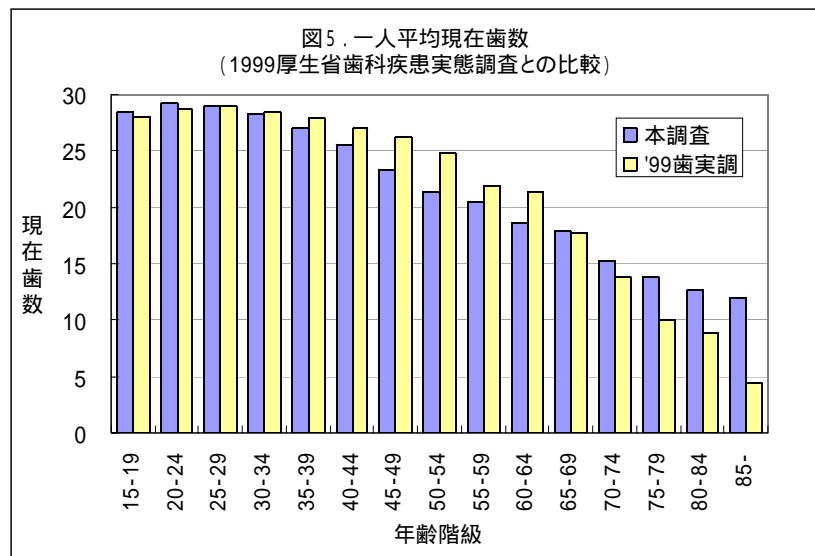
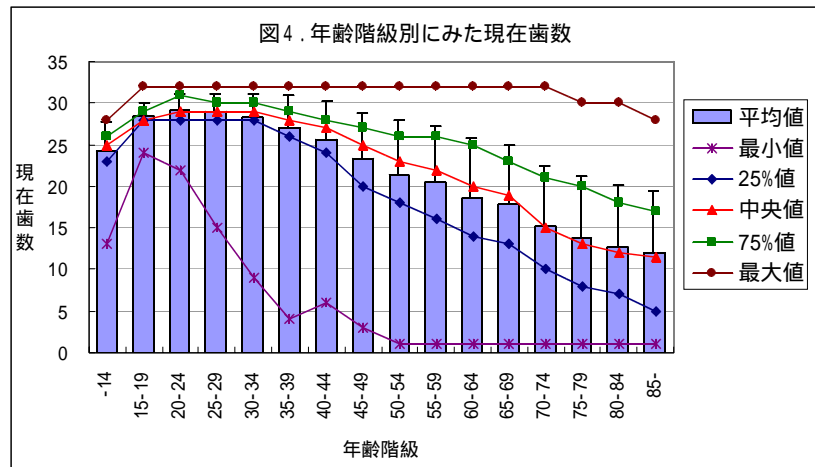
患者の属性

抜歯処置を受けた患者数は、計7,499名で男女比はほぼ同一であった（男性3,712名、女性3,769名）。平均年齢は53.7歳（SD=17.5）で、男女差をみると僅かに男性のほうが高かった（男性54.3歳、女性53.2歳、 $p<0.01$ t検定）。図3（統計表3）



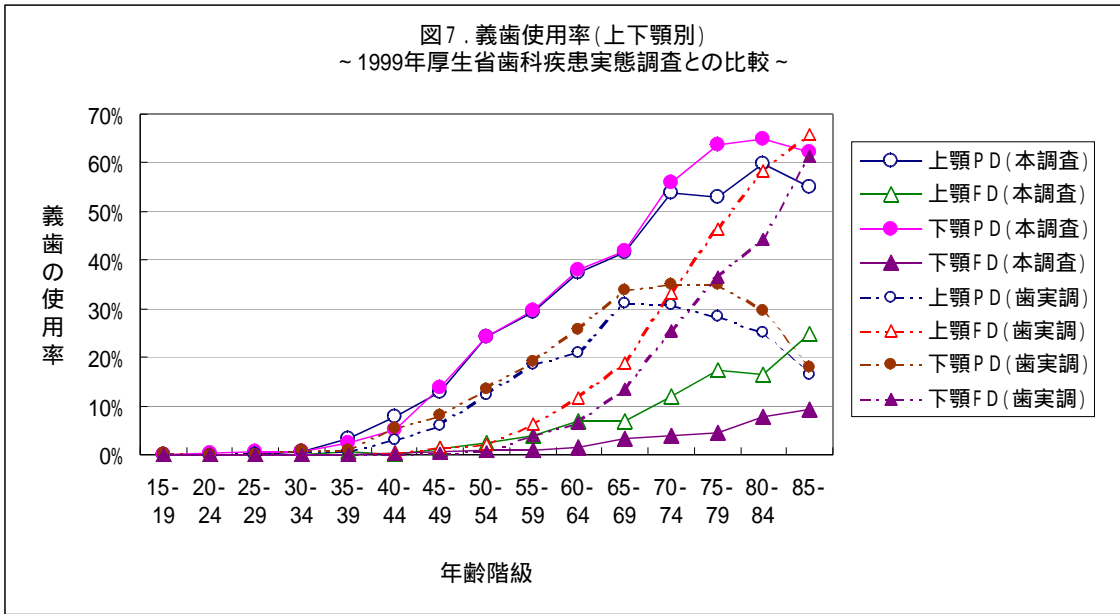
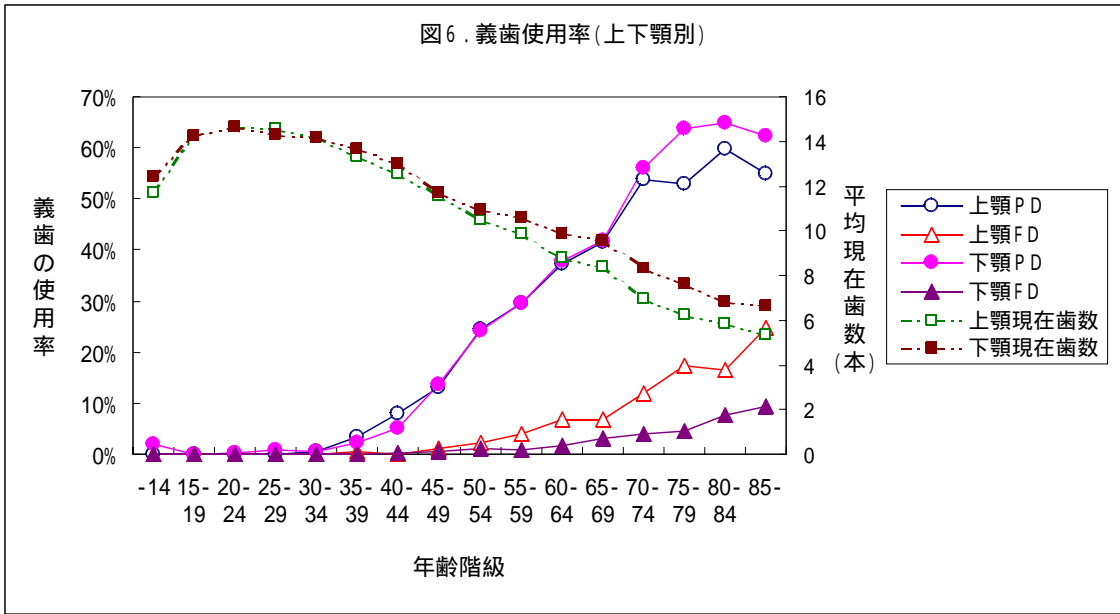
は抜歯を受けた患者の年齢分布を性別に示したものである。全体的に分布は二峰性を示し（30歳前後と60歳前後がピーク）、50～74歳が多かった。男女差は顕著ではなかった。

現在歯数の平均値は21.1本（SD=7.9）で男女差は認められなかった。年齢階級別に見ると、図4（統計表4）に示すように年齢とともに少なくなる傾向が認められた。分布の偏りは、いずれの年齢階級でも比較的均一であった。また、全国値（1999年厚生省歯科疾患実態調査）と比較したものを図5に示す。比較的若い年齢層（35～64歳）では本調査のほうが少なく、70歳以上になると本調査のほうが大きな値を示した。これは70歳以上になると、無歯顎者や少数歯が残存している



割合が多くなり、抜歯経験者の現在歯数は平均値よりも多くなるためと考えられる。

義歯使用者の割合は、部分床義歯（PD）が上顎27.6%、下顎28.7%、総義歯（FD）が上顎5.4%、下顎1.8%であった。図6（統計表5）はPDとFDを装着している患者の割合を上下顎別・年齢階級別に示したものである。PD装着者の割合は、40歳代から年齢とともに高くなり、70歳代で50%を超えて横ばいとなる。FDの装着者の割合は、50歳代から年齢とともに増加するが、上顎のほうが下顎よりも多かった。図7は、1999年厚生省歯科疾患実態調査と比較したものである。全般的に本調査の対象は、PD装着者の割合が多く、FD装着者の割合が低い傾向が認められた。

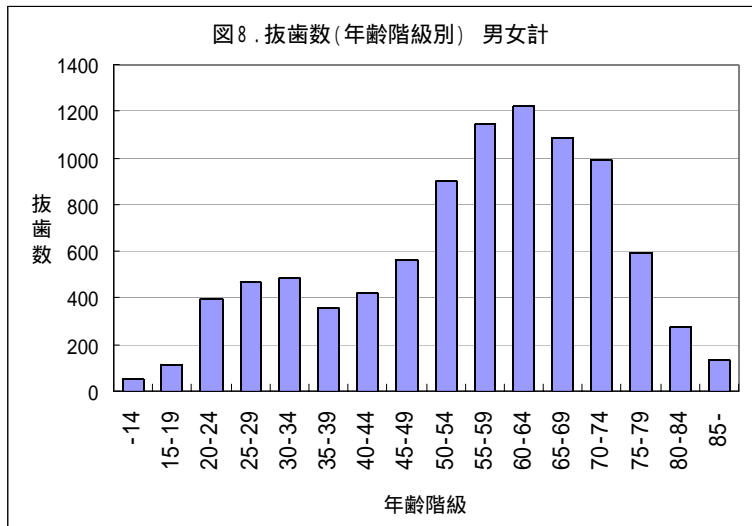


2) 抜歯数に関する基礎統計量

歯単位の分析

総抜歯数は9,350本であった。

図8(統計表6)に年齢階級別にみた抜歯数を示す。抜歯数が最も多かった年齢層は、患者数(図3)と同様、55~74歳であった。また、25~34歳の抜歯数



は、その上の年齢層より若干多く、年齢階級別にみた抜歯数の分布は二峰性を示した。

男女差はほとんどなかった（男性 4,713 本、女性 4,617 本、性不明 20 本）。

図 9 は図 8 の年齢階級別抜歯数を性別に示したものである。50～64 歳で男性の抜歯数が女性よりも多い傾向が認められた以外、とくに差は認められなかった。

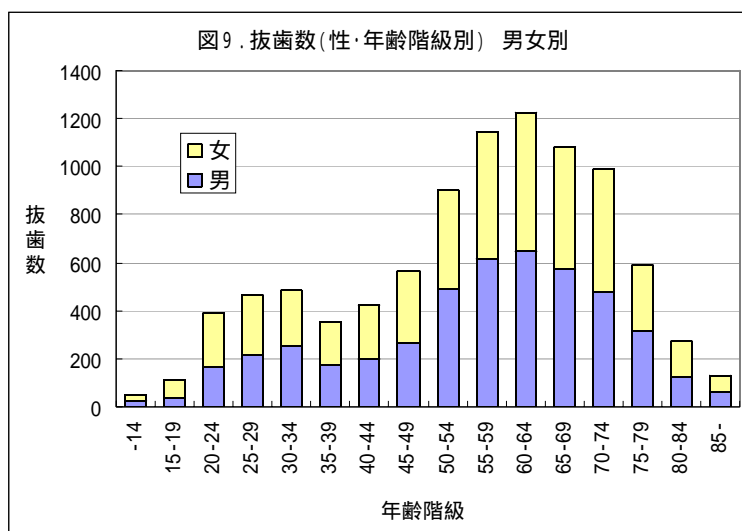


図 10 (統計表 7) に歯別にみた抜歯数を示す。抜歯数は智歯が最大で全体的に臼歯部が多かった。上顎と下顎を比較すると上顎がやや多かった。

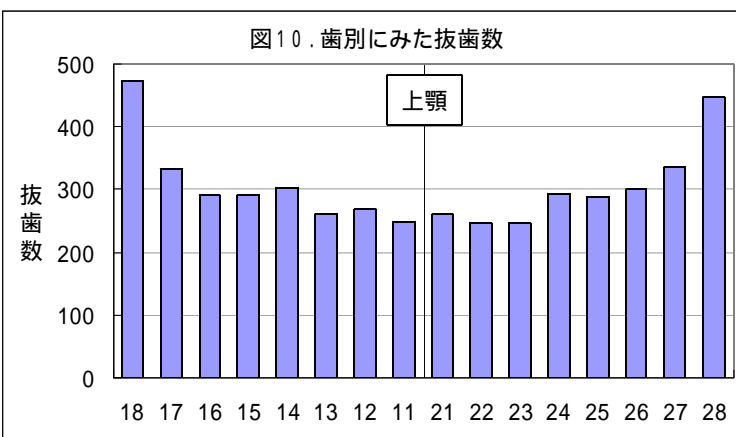
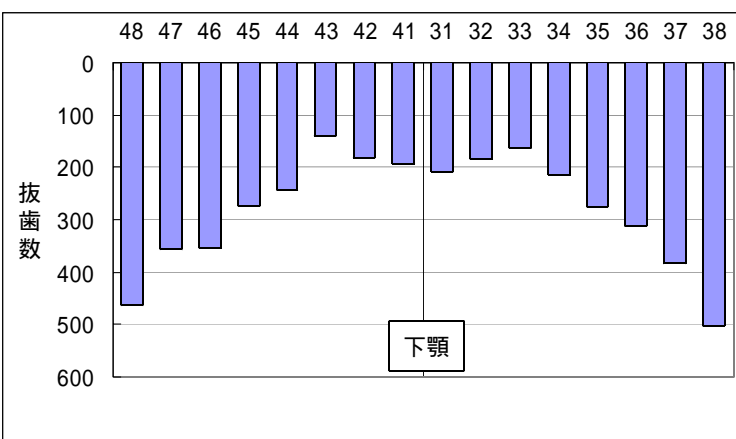


図 11(統計表 8)は、図 10 を年齢階級別に示したものである。各歯の抜歯数の年齢階級別内訳をみると、智歯では特異な分布を示し若い年齢層が際だって多かった。他の部位では全体的に臼歯部では若い年齢層が多い傾向が認められた。



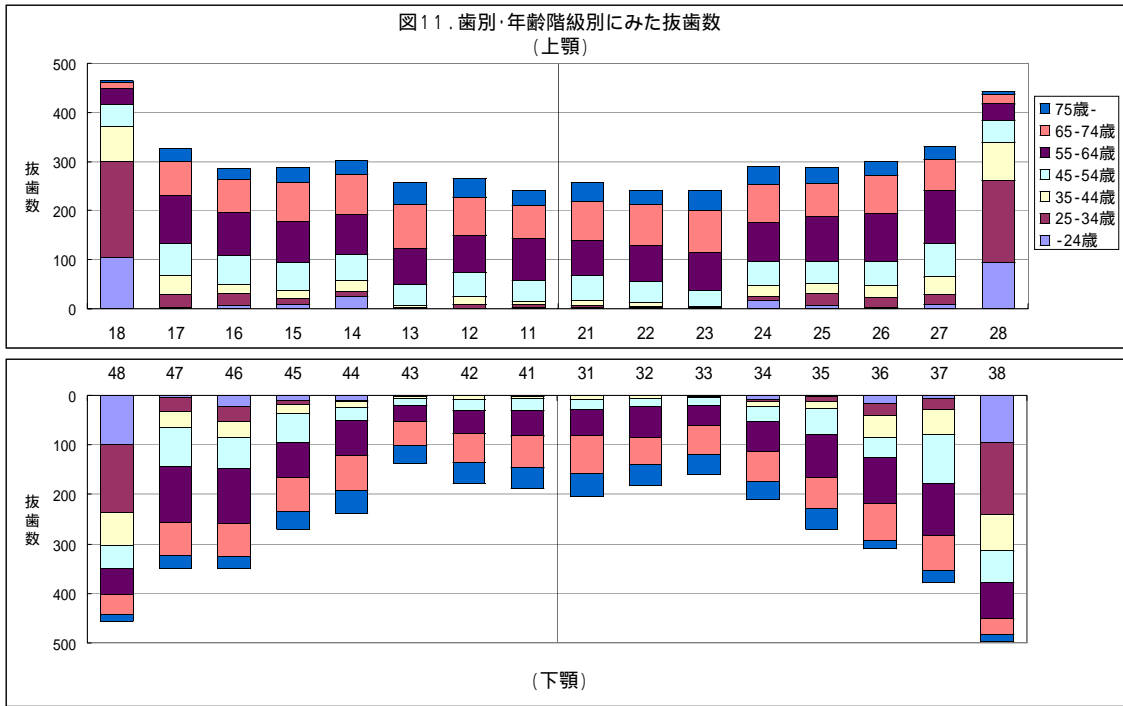
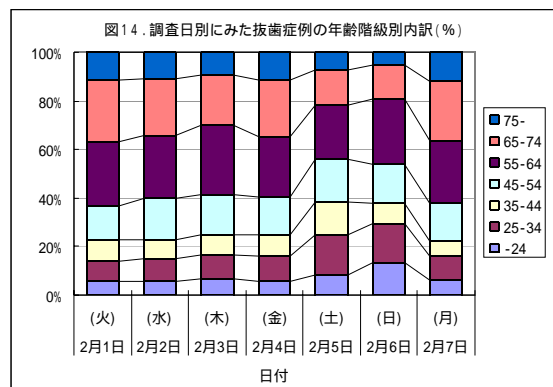
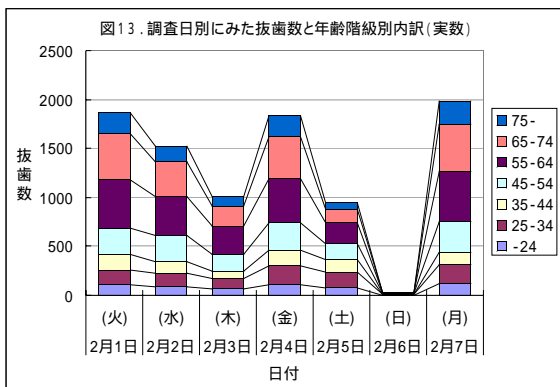
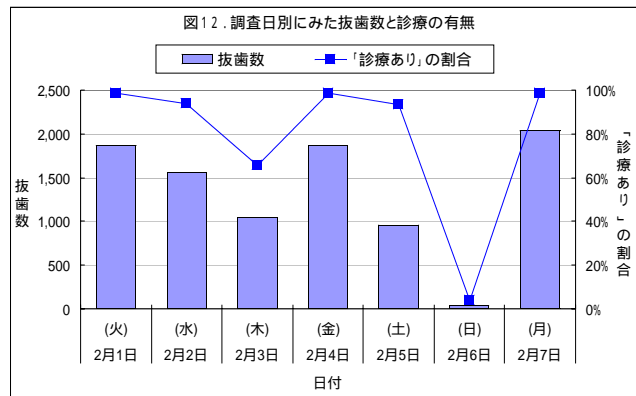


図12 (統計表9) に調査日別に見た抜歯数を示す。2月3日(木曜日)と2月6日(日曜日)が少ないのは、休診日が多いためと考えられるが、土曜日(2月5日)が少ないのは、翌日が日曜日で休診日が多いことと、来院患者全体の年齢層が低いことによるものと考えられる。図13 (統計表10) は、図12の棒の部分について年齢階級別内訳(実数値)を示したものの、図14はその割合を示したものであるが、土曜日は比較的若い年齢層の割合が多かった。



患者単位の分析

表5に患者単位でみた抜歯数の基礎統計量を示す。抜歯数の平均値は1.25 (SD=0.64)、中央値は1、range1～9であった。図15(統計表11)に患者1人あたり抜歯数の分布を示す。抜歯数1本が全体の8割強と最も多く、次いで2本(12%)、3本(3%)の順であった。

これを年齢階級別に示したものが、図16、図17(統計表12)である。また、表6は患者1人あたり抜歯数の基礎統計量を年齢階級別に示したものである。患者一人あたり抜歯数は、年齢が上がるにつれて多くなる傾向が認められた。

表5. 抜歯数の基礎統計量(患者単位)

N	7,499
平均	1.25
SD	0.64
最小値	1
25%値	1
中央値	1
75%値	1
90%値	2
95%値	2
最大値	9

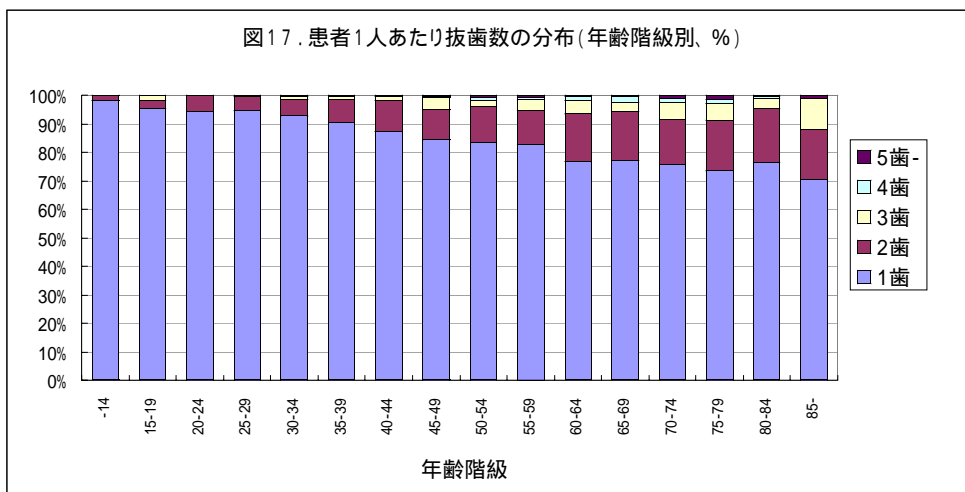
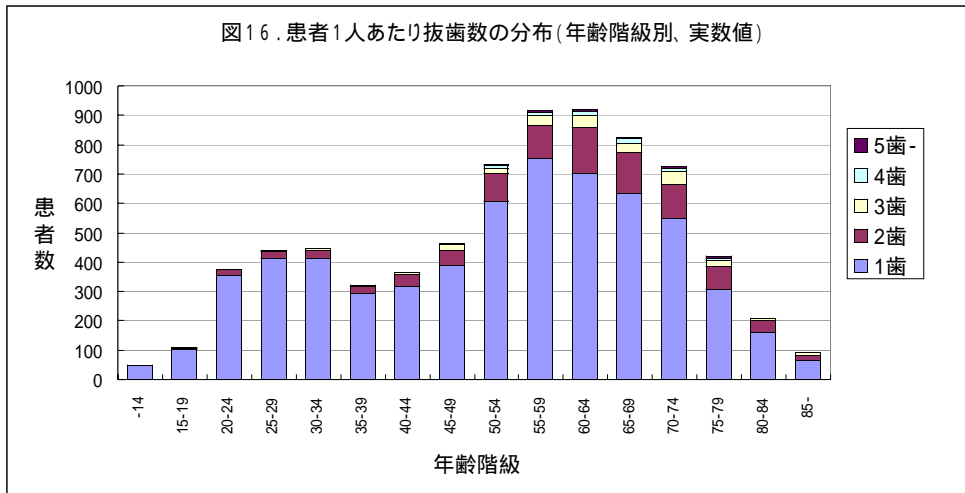
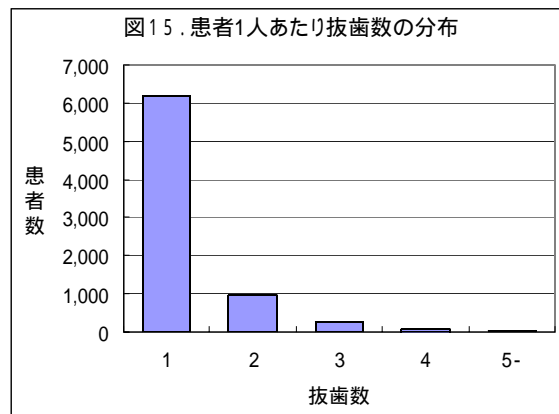


表6. 患者1人あたりの抜歯数の基礎統計量(年齢階級別)

年齢階級	人数	平均	SD	最小値	25%値	50%値	75%値	90%値	95%値	最大値
-14	51	1.02	0.14	1	1	1	1	1	1	2
15-19	108	1.06	0.31	1	1	1	1	1	1	3
20-24	375	1.06	0.24	1	1	1	1	1	2	2
25-29	438	1.06	0.28	1	1	1	1	1	2	4
30-34	446	1.09	0.35	1	1	1	1	1	2	4
35-39	322	1.11	0.38	1	1	1	1	1	2	4
40-44	365	1.16	0.47	1	1	1	1	2	2	6
45-49	463	1.22	0.58	1	1	1	1	2	3	6
50-54	731	1.24	0.65	1	1	1	1	2	2	7
55-59	914	1.25	0.65	1	1	1	1	2	3	7
60-64	918	1.33	0.75	1	1	1	1	2	3	9
65-69	823	1.32	0.71	1	1	1	1	2	3	8
70-74	724	1.37	0.77	1	1	1	1	2	3	7
75-79	420	1.41	0.88	1	1	1	2	2	3	8
80-84	210	1.30	0.61	1	1	1	1	2	2	5
85-	92	1.43	0.77	1	1	1	2	3	3	5
Total	7,400	1.24	0.64	1	1	1	1	2	2	9

歯科医院単位の分析

表7に歯科医院単位でみた抜歯数の基礎統計量を示す。抜歯数の平均値は4.67 (SD=4.37)、中央値は4、range0～34であった。図18(統計表13)に歯科医院あたり抜歯数の分布を示す。抜歯数0本は、282医院(14.1%)であり、最も頻度が高かった。また、10歯以上の割合が12%と比較的高く、歯科医院による較差が認められた。

表7. 抜歯数の基礎統計量(歯科医院単位)

N	2,001
平均	4.67
SD	4.37
最小値	0
25%値	1
中央値	4
75%値	7
90%値	10
95%値	13
最大値	34

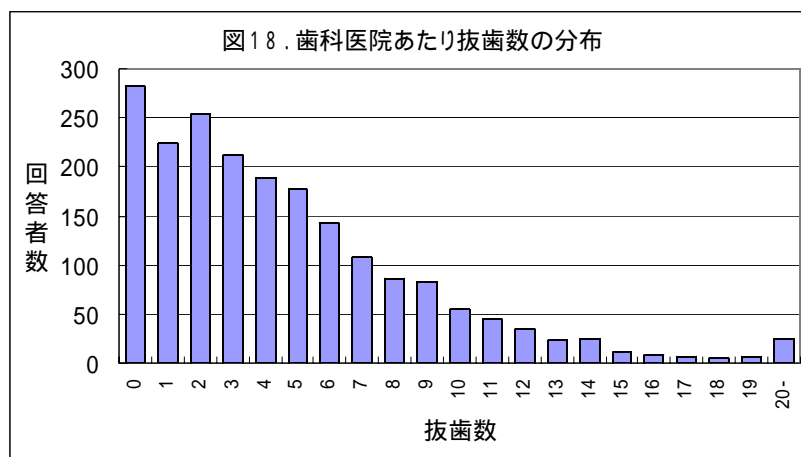
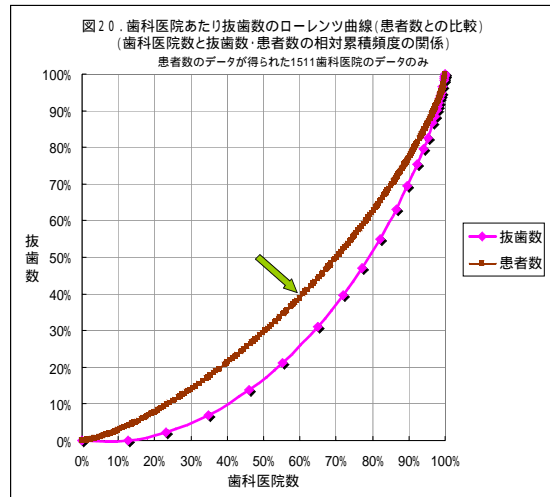
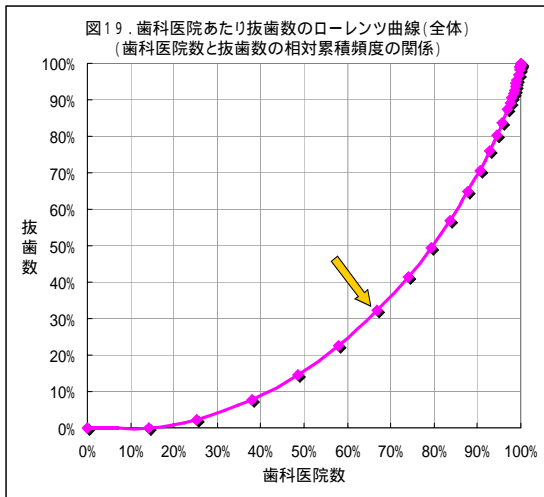


図19は、歯科医院あたり抜歯数の較差を視覚的に示すために作成したローレンツ曲線である。図の横軸は歯科医院数の相対累積頻度、縦軸は抜歯数の相対累積頻度を示す。全抜歯数の約3分の2が、約3分の1の歯科医院で行われていた(図19中の矢印)。

図20は、抜歯数と患者数の歯科医院較差を比較したものである(調査期間中の患者数のデータが得られた1,511歯科医院のデータのみ)。抜歯数の分布は図19とほとんど同じであった。患者数の分布をみると、6割の患者が4割の歯科医院に受診していた(図20中の矢印)が、抜歯数に比べると偏りが少なかった。



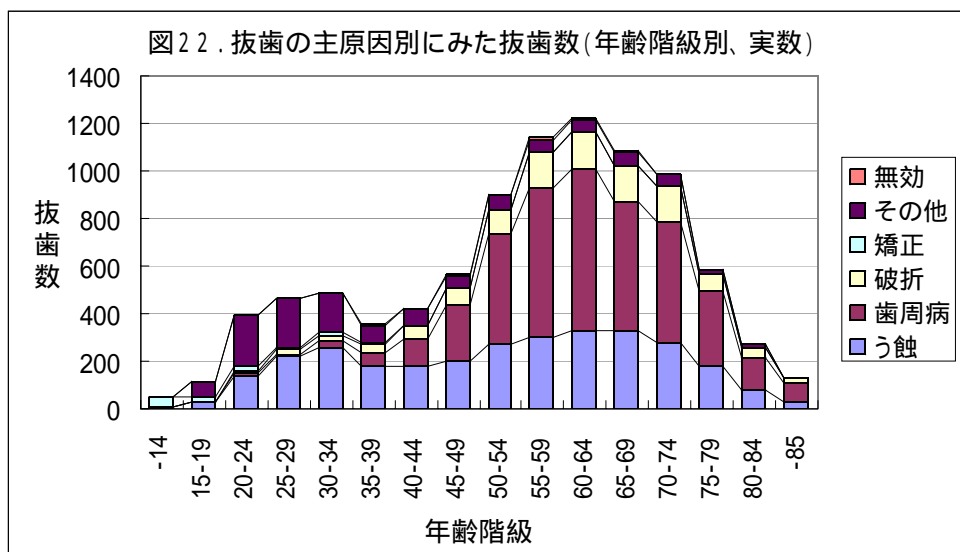
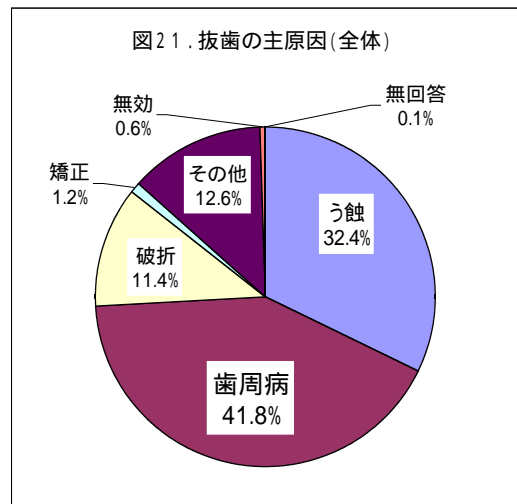
3) 抜歯原因等に関する基礎統計量

抜歯原因

図21(統計表14)に抜歯の主原因の割合を示す。最も多かったのは歯周病の(42%)で、う蝕(32%)、その他(13%)、破折(11%)、矯正(1%)の順であった。

図22(統計表14)に、抜歯の主原因別に見た抜歯数を年齢階級別に示す。図23は年齢階級ごとの抜歯主原因の割合を示したものである。

歯周病による抜歯の割合は30歳代から50歳代にかけて多くなり、それ以上の年齢階級では、ほぼ一定



あった。う蝕による抜歯の割合は、30歳前後まで年齢とともに多くなる傾向にあった、それ以上の年齢層では概ね同じ割合であった。破折は20歳代から40歳代にかけて多くなり、

それ以上の年齢層ではほぼ同じ割合であった。矯正と「その他」は若い年齢層で多かった。

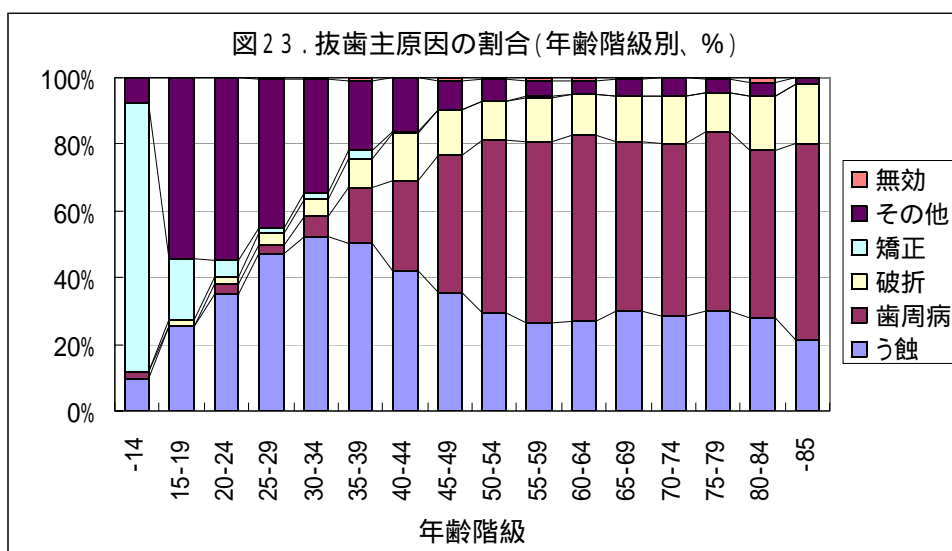


図 24 (統計表 15) は、抜歯主要原因の割合を性別に比較したものである。男性では歯周病による抜歯の割合が多く、それ以外の主原因では女性の割合が高かった。

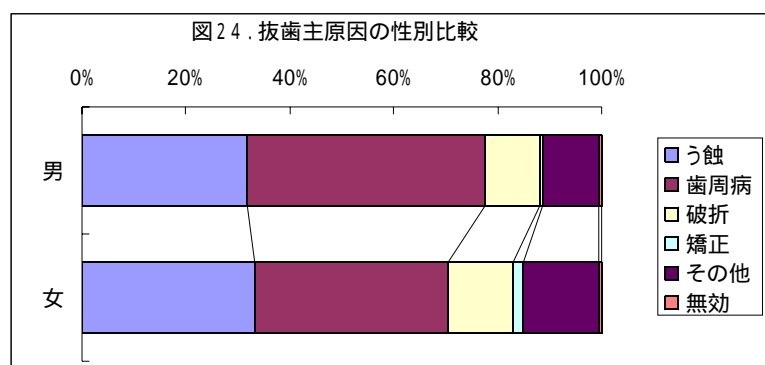


図 25 と図 26 (統計表 16) は、男性と女性の抜歯主要原因の割合を年齢階級別に見た割合を示したものである。30 歳代以下の年齢層では、女性の矯正、「その他」による抜歯の割合が大きく、40 歳前後以上の年齢層では男性の歯周病による抜歯の割合が多かった。

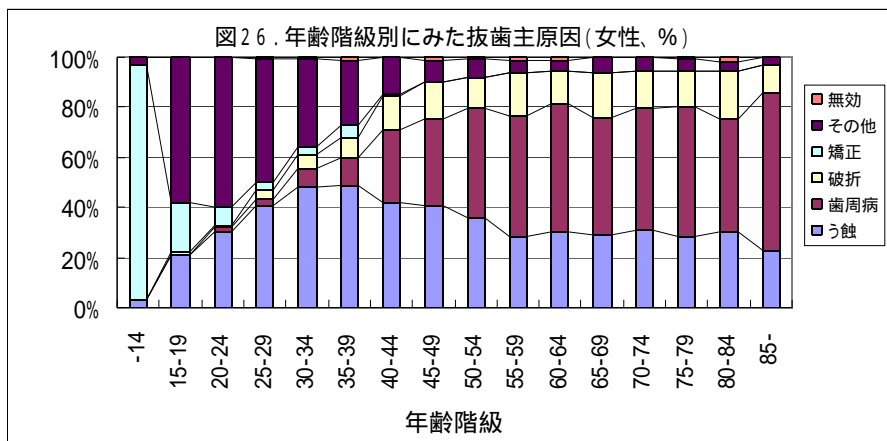
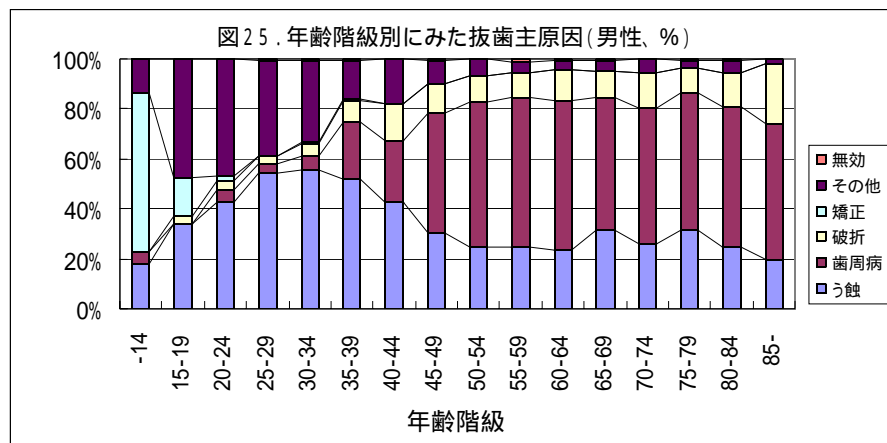
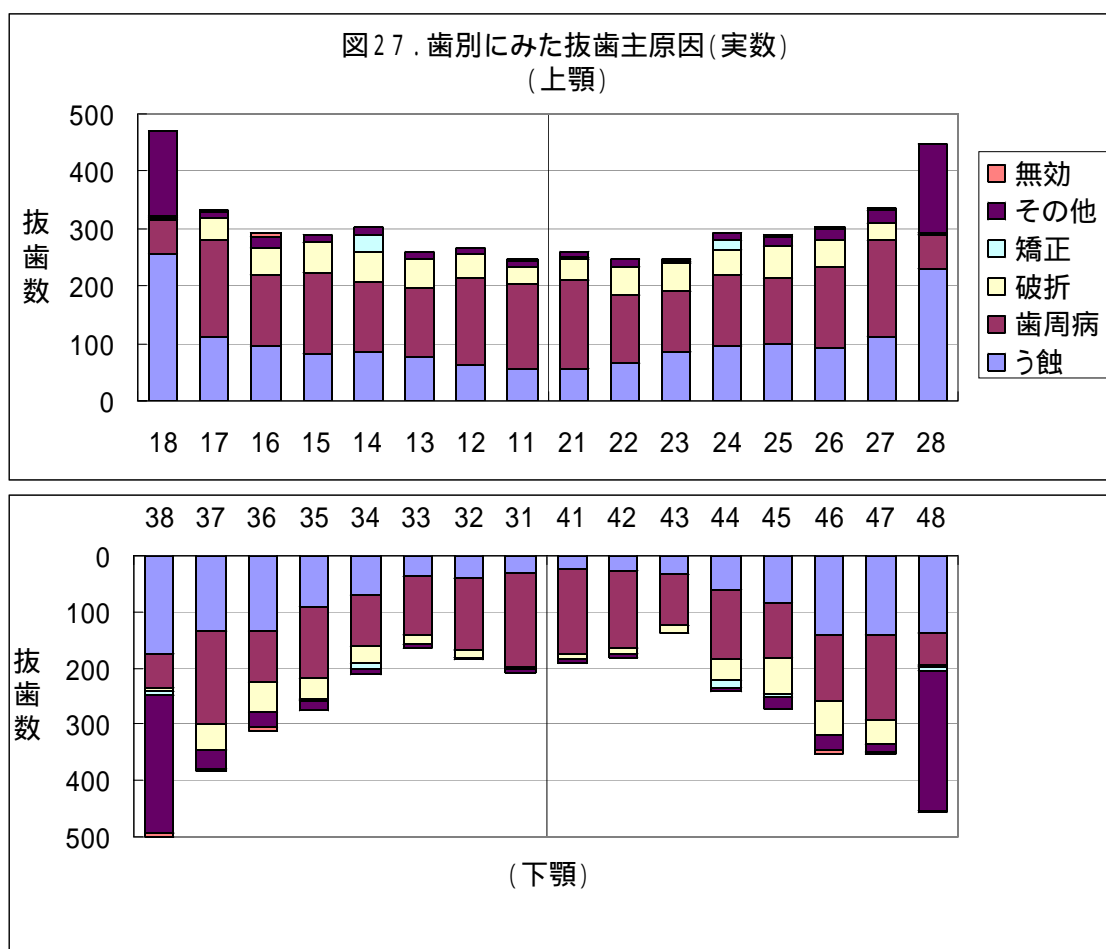
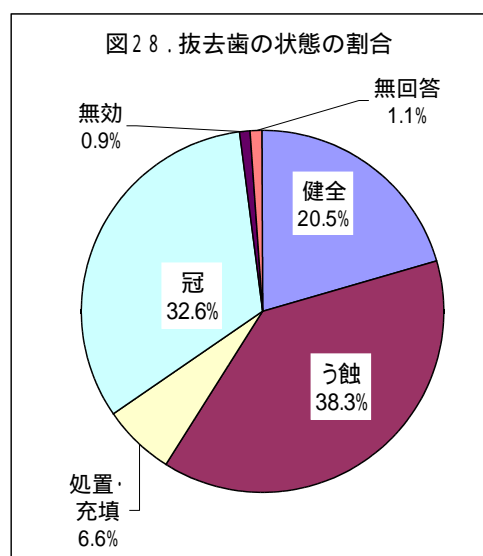


図 27 (統計表 17) は、各歯の抜歯主原因を示したものである。全体的に前歯部では歯周病による抜歯の割合が多かった。臼歯部は、う蝕による抜歯の割合が前歯部に比べて多い傾向が認められたが、とくに上顎智歯では、う蝕による抜歯が際だって多かった。また、上下顎の智歯では「その他」の割合が高く、とくに下顎智歯で顕著であった。



抜去歯の状態

図 28 (統計表 18) に抜去歯の状態の割合を示す。う蝕の割合が 38% と最も多く、次いで処置・冠 (33%)、健全 (21%)、処置・充填 (7%) の順であった。図 29 (統計表 18) に、抜去歯の状態を年齢階級別に示したもので、図 30 (統計表 18) は年齢階級ごとの割合を示したものである。う蝕はどの年齢層とも多かった。処置・冠は年齢とともに多くなる傾向が認められた。健全歯の割合は若い年齢層で高かった。



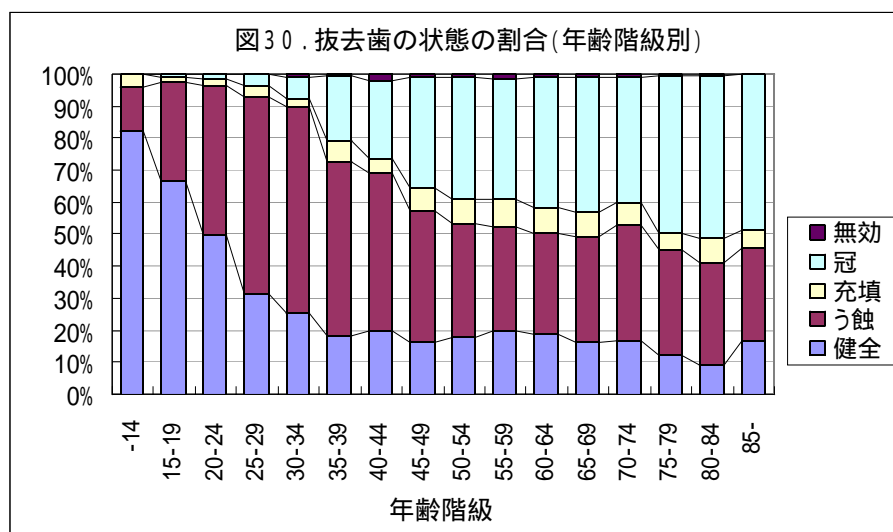
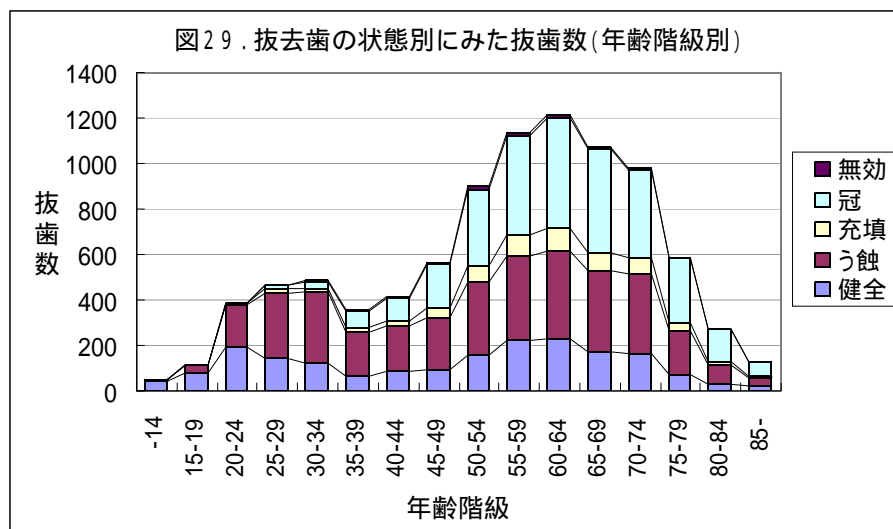


図31(統計表19)は、抜去歯の状態を性別に比較したものである。女性では冠の割合が高く、男性では健全の割合が高かった。

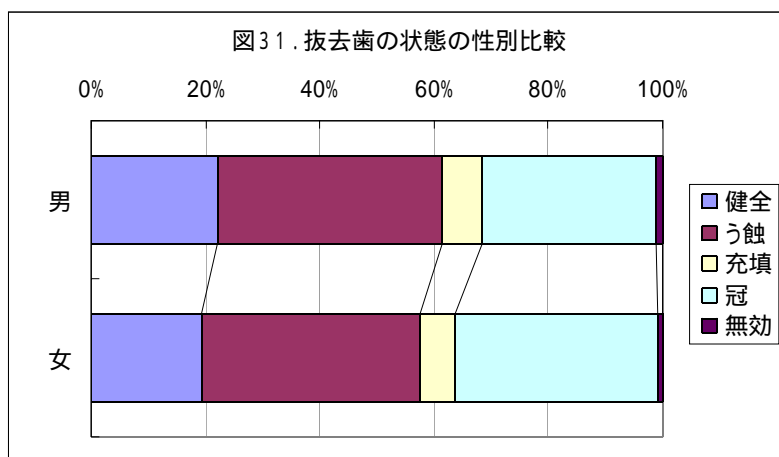
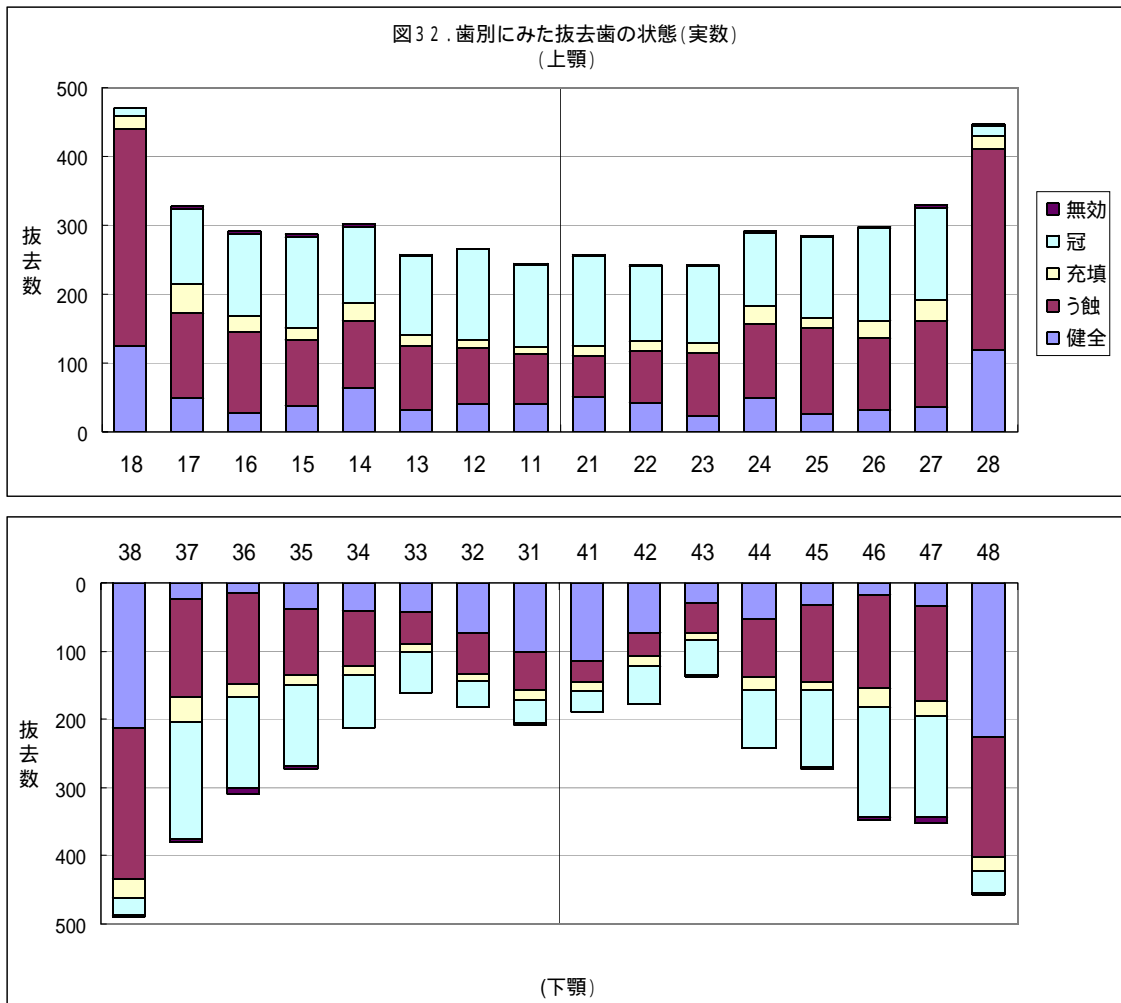


図32(統計表20)に歯別にみた抜去歯の状態の分布を示す。上下顎とも智歯は特異な分布を示し、う蝕の割合が高く冠の割合が極端に低かった。また、上顎では各歯による分布の違いはそれほど顕著ではなかったが、下顎では前歯部では健全の割合が、臼歯部では冠の割合が高かった。



抜去歯の歯髄の状態

図33(統計表21)に抜去歯の歯髄の状態の割合を示す。最も多かったのは「無髄・根充あり」の43%、次いで「有髄」38%、「無髄・根充なし」17%であった。

年齢階級別にみると(図34、図35、統計表21)年齢が高くなるとともに「無髄・根充なし」の割合が多くなり、「有髄」の割合が少なくなる傾向が認められた。「無髄・根充なし」は、どの年齢層ともほぼ同じ割合であった。

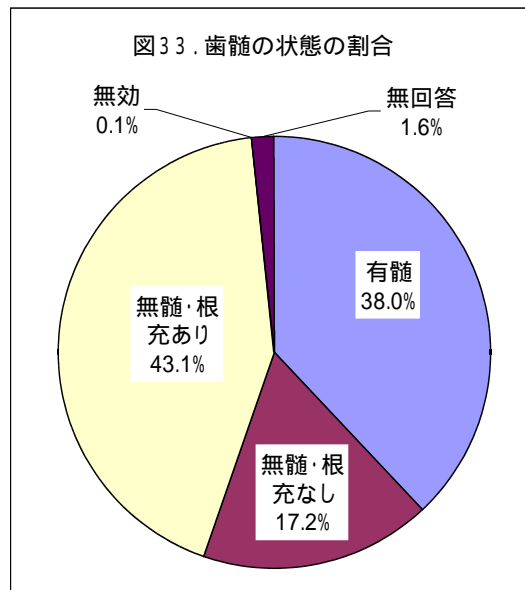


図34. 年齢階級別にみた抜去歯の歯髓の状態の分布

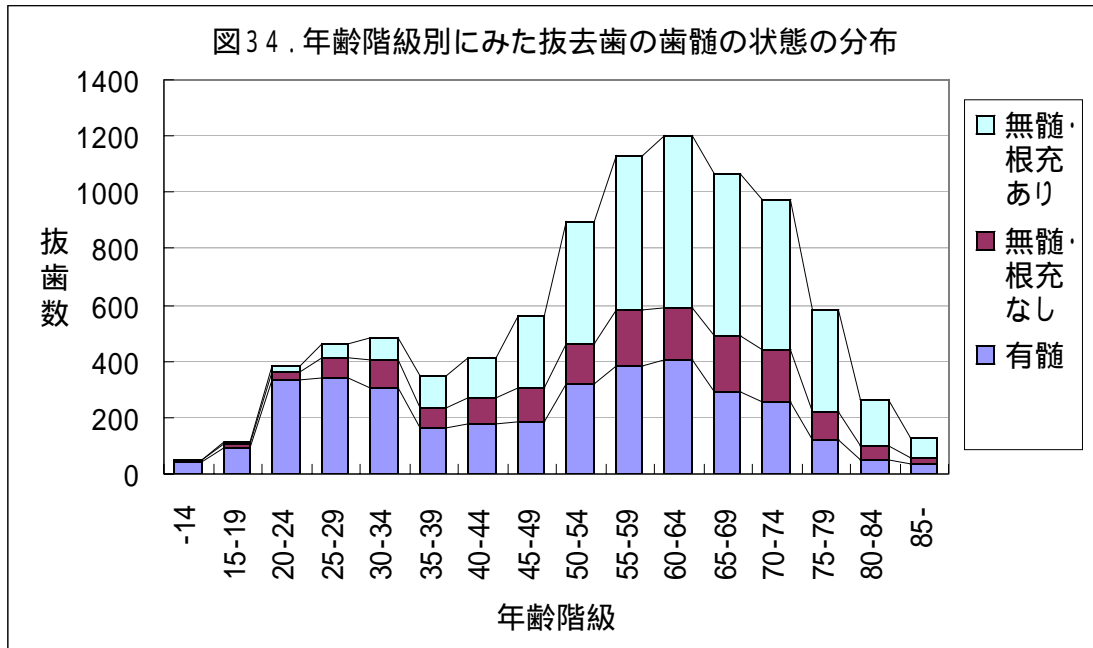


図35. 年齢階級別にみた抜去歯の歯髓の状態の割合

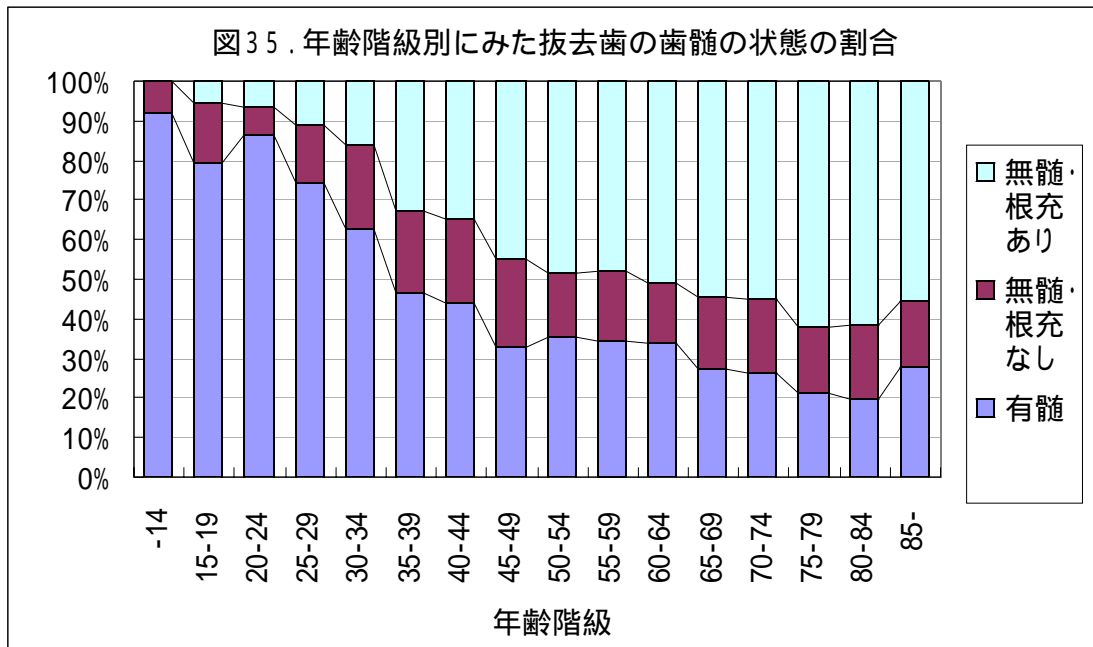


図36(統計表22)

は抜去歯の歯髓の状態を性別に比較したものである。女性は有髓歯が少なく、根管充填が施されている無髓歯の割合が高かった。

図36. 抜去歯の歯髓の状態の性別比較

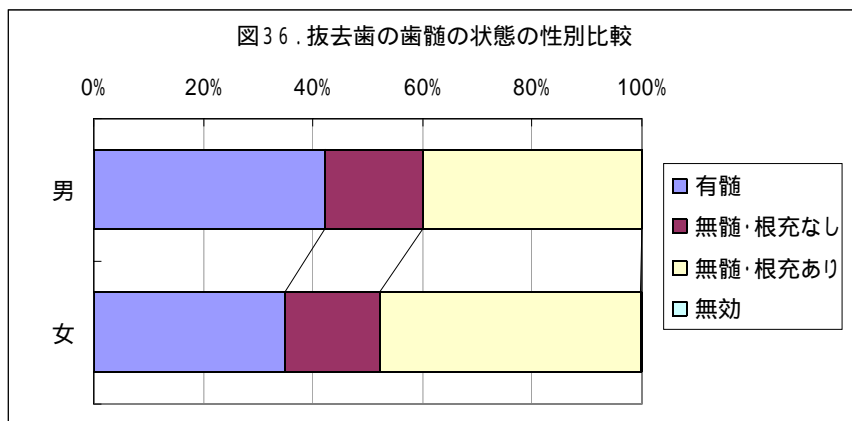
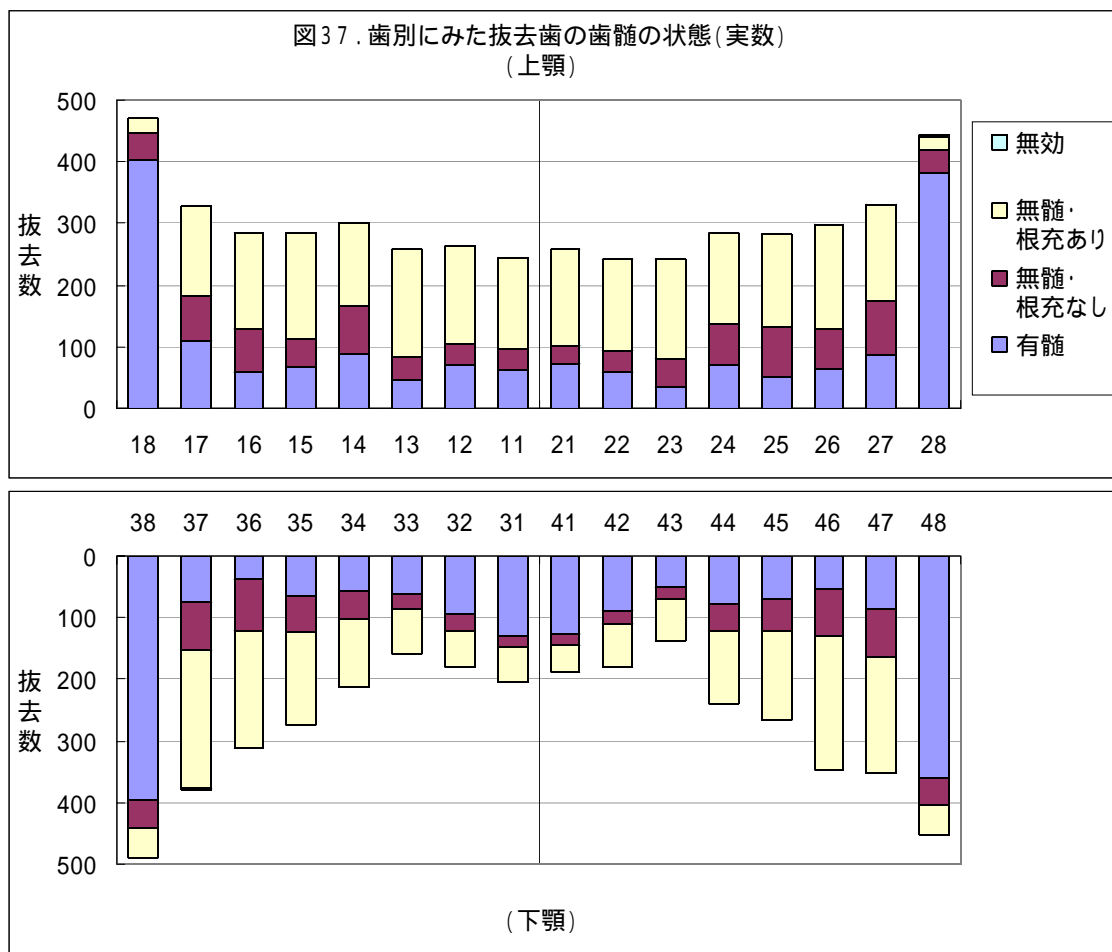
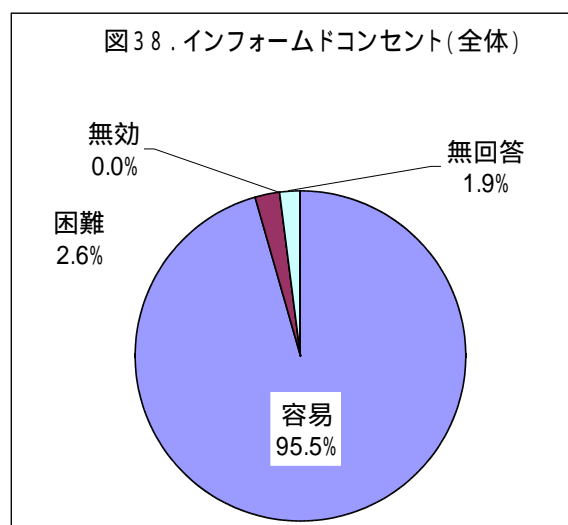


図 37(統計表 23)は、歯髓の状態の分布を歯別に示したものである。抜去歯の状態(図 32)と同様、智歯は他歯に比べて特異な分布を示し、無髓歯の割合が少なかった。また、上顎では智歯を除くと各歯の分布に大きな違いは認められなかったが、下顎(智歯を除く)では、前歯部では有髓歯の割合が高く、臼歯部では無髓歯の割合が高い傾向が認められた。



インフォームドコンセント

図 38 (統計表 24) に抜歯処置のインフォームドコンセントの状況を示す。困難は 3%弱と少なかった。年齢階級、性、抜歯部位による差は認められなかった。

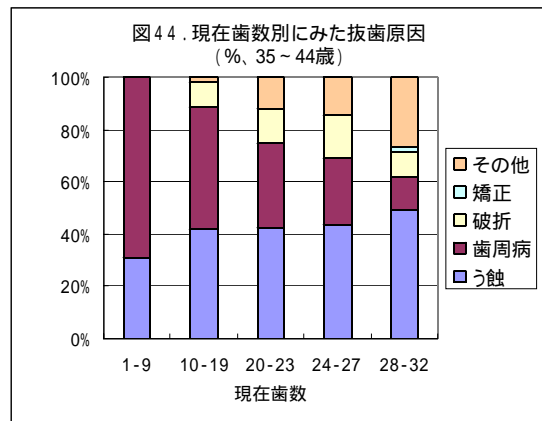
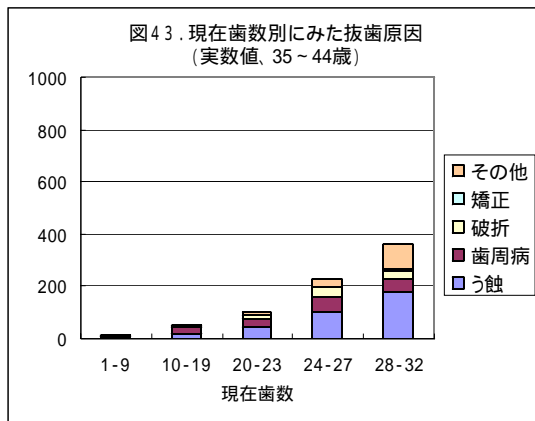
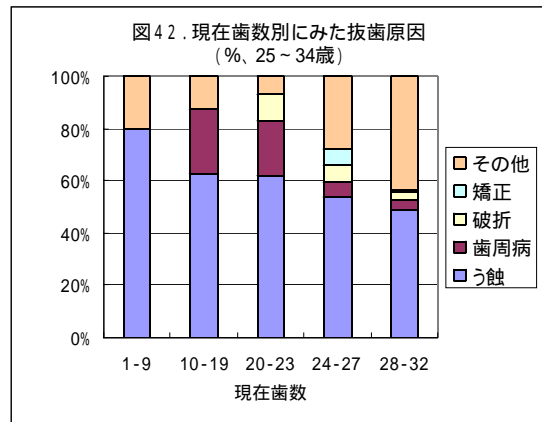
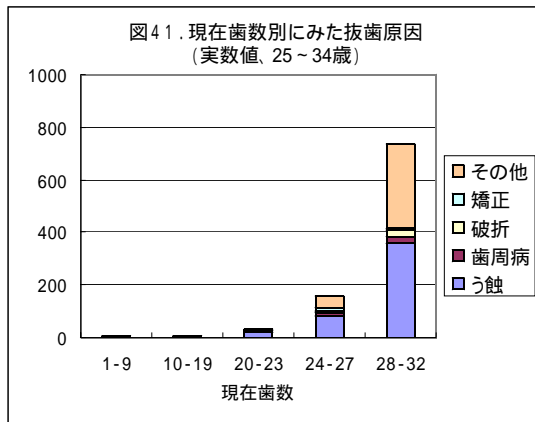
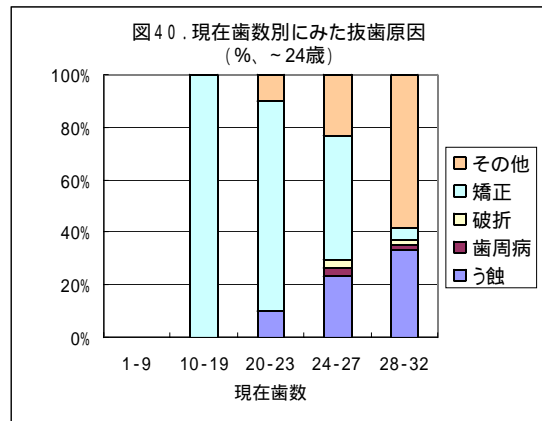
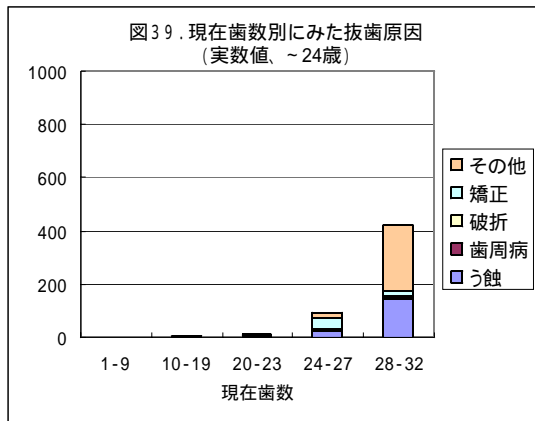


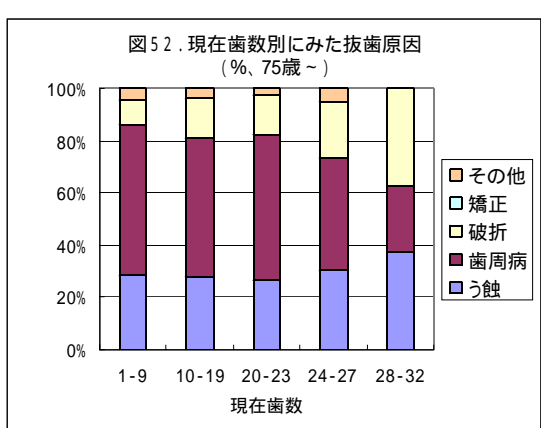
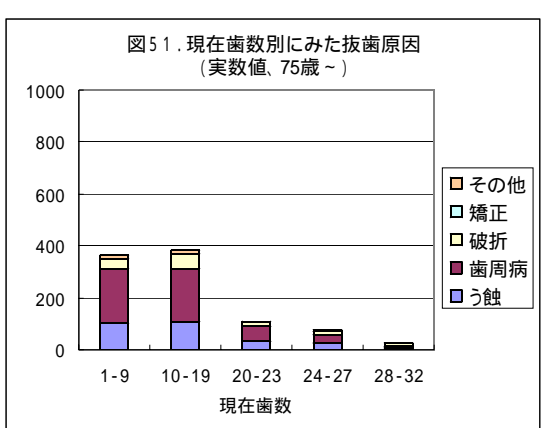
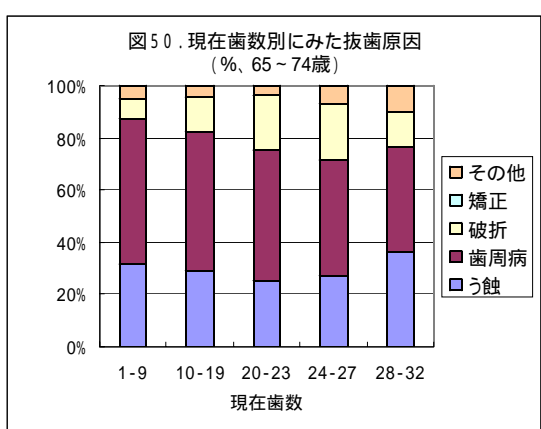
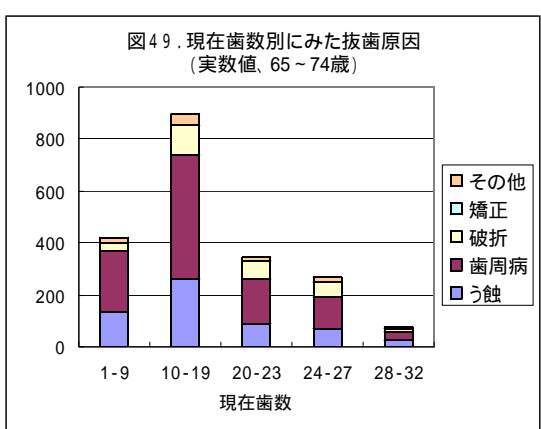
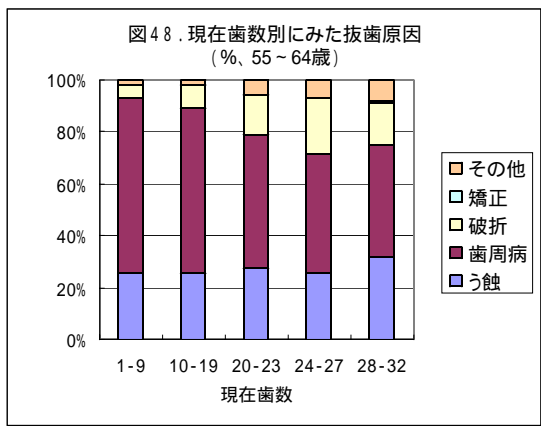
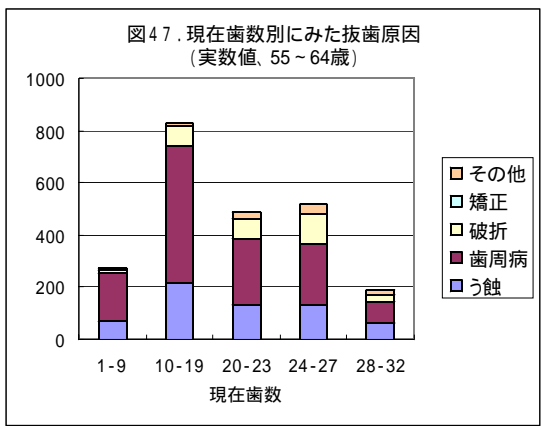
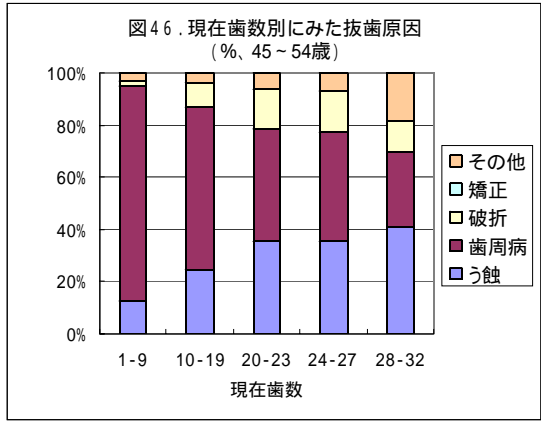
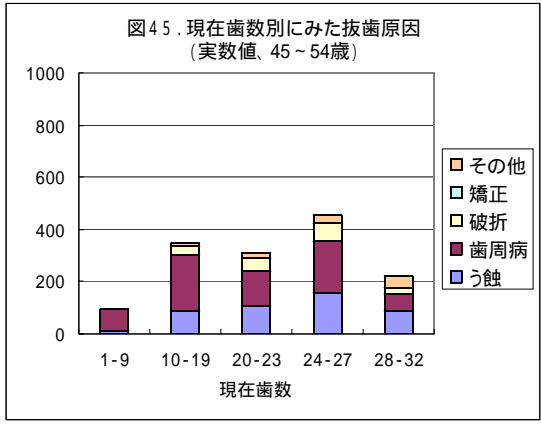
4) クロス集計

現在歯数と抜歯原因との関連(年齢階級別)

現在歯数と抜歯原因の関連をみるため、年齢階級別にクロス集計を行った。

図 39 ~ 図 52 (統計表 25) に、現在歯数別にみた抜歯原因の頻度分布と割合を示す。いずれの年齢階級においても、現在歯数が少なくなると歯周病による抜歯の割合が多くなる傾向が認められた。

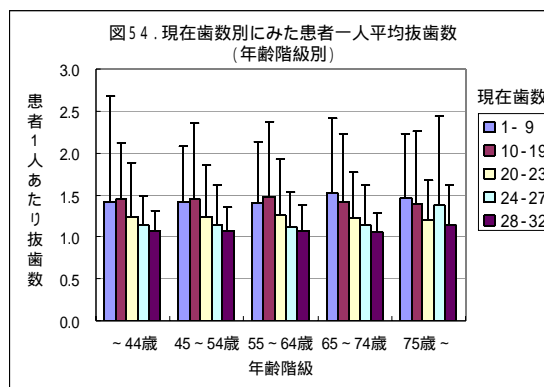
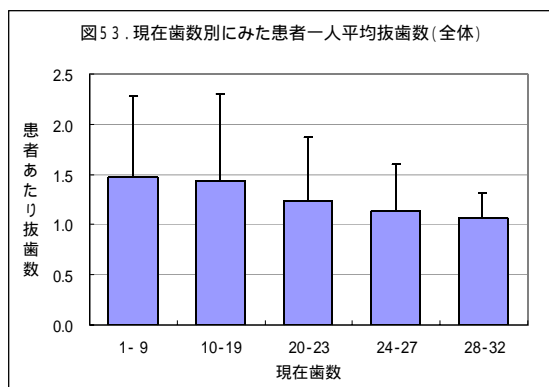




現在歯数と患者 1 人あたり抜歯数の関連

患者一人平均抜歯数と現在歯数の関連についてクロス集計を行った。

図 53 は全体、図 54 は年齢階級別行ったクロス集計結果を示す（統計表 26）。全年齢また各年齢階級ともに、現在歯数が少ないと患者一人平均抜歯数が多くなる傾向が認められ、年齢階級と現在歯数による 2 元配置分散分析を行った結果、現在歯数のみ有意（ $p < 0.001$ ）であり、年齢階級との関連は認められなかった。



5) 全国における年間喪失歯数の推計

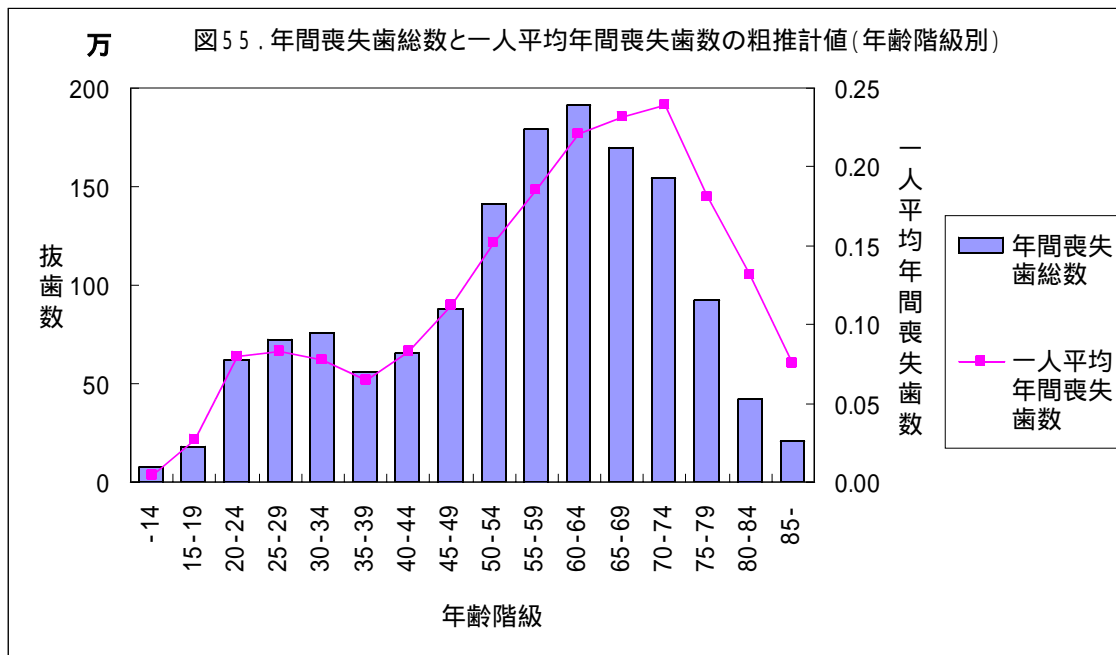
年齢階級別にみた抜歯数のデータ（図 8、統計表 6）を用い、回収率（39.1%）、対象歯科診療所の抽出率（ $8.8\% = 5,131 \div 57,989$ ）、日本歯科医師会一般会員数（57,989）、全国の歯科診療所数（62,484）を考慮し、まず、調査期間（1週間）における全国の抜歯総数を求めたところ 291,967 本と推計された（表 8）。この数値に 50 を乗じた数値を年間喪失歯数の粗推計値として算出したところ、約 1,460 万本と推計された。最も多かった年齢階級は 60 ~ 64 歳で 191 万本が喪失していると推計され、その前後の年齢階級（50 ~ 74 歳）では各年齢階級ともに年間 100 万本以上が喪失していると推計された（表 8、図 55）。

さらに、年齢階級別の値を推計人口で除し、一人平均年間喪失歯数の粗推計値を求めた。国民全体では一人平均年間喪失歯数は約 0.11 本と推計され、年齢階級別にみると 70 ~ 74 歳が約 0.24 本と最多で、60 ~ 74 歳が 0.2 本以上であった（表 8、図 55）。

表8. 全国における年間喪失歯総数と年間一人平均喪失歯数の粗推計値の算出(年齢階級別)

年齢階級	抜歯数(a)	歯科医師数				1週間分の抜歯総数の全国推計値 = a × 50	週数	年間喪失歯総数の粗推計値 = (1週間分の抜歯総数の全国推計値) × 週数	推計人口(2004.10)	1人あたり年間喪失歯数(粗推計値) = (年間喪失歯総数の粗推計値) ÷ 推計人口	
		有効回答数	有効発送数	日歯・一般会員数#	歯科診療所(全数)##						
-14	52	2,001	5,116	57,989	62,484	1,624	50	81,189	17,734,000	0.005	
15-19	115					3,591		179,552		6,761,000	0.027
20-24	397					12,397		619,844		7,725,000	0.080
25-29	465					14,520		726,013		8,755,000	0.083
30-34	487					15,207		760,363		9,819,000	0.077
35-39	358					11,179		558,952		8,661,000	0.065
40-44	422					13,178		658,877		7,909,000	0.083
45-49	565					17,643		882,145		7,854,000	0.112
50-54	904					28,229		1,411,433		9,300,000	0.152
55-59	1,146					35,785		1,789,272		9,640,000	0.186
60-64	1,224					38,221		1,911,055		8,652,000	0.221
65-69	1,089					34,006		1,700,277		7,344,000	0.232
70-74	989					30,883		1,544,145		6,465,000	0.239
75-79	592					18,486		924,301		5,098,000	0.181
80-84	273					8,525		426,240		3,235,000	0.132
85-	132					4,122		206,094		2,734,000	0.075
不明	140					4,372		218,585			
計	9,350					291,967		14,598,336	127,686,000	0.114	

2004年11月末現在
平成14年医療施設調査



6) 1人あたり現在歯数に関する将来予測

年間一人平均喪失歯数がわかると、厚生省歯科疾患実態調査で得られている年齢階級別一人平均現在歯数のデータを用いて、将来予測を行うことが可能となる。

そこで、最新の全国調査データである1999年厚生省歯科疾患実態調査で得られた年齢階級別一人平均現在歯数のデータと一人平均年間喪失歯数の粗推計値を用い、1人あたり現在歯数の将来予測を行った。

推計に際して、2000年の一人平均現在歯数が1999年の厚生省歯科疾患実態調査データと同じであることと、今回推計された年齢階級別年間一人平均喪失歯数は今後も同じ値で推移することを仮定した。

その結果を表9と図56に示す。本予測は、一人平均年間喪失歯数の粗推計値を用いて行ったため、いわば粗予測値に相当するが、現在歯数の増加傾向は今後も続き、2040年には“8020”が達成することが予測された。

表9. 一人平均年間喪失歯数(粗推計値)を用いた一人平均現在歯数の将来予測

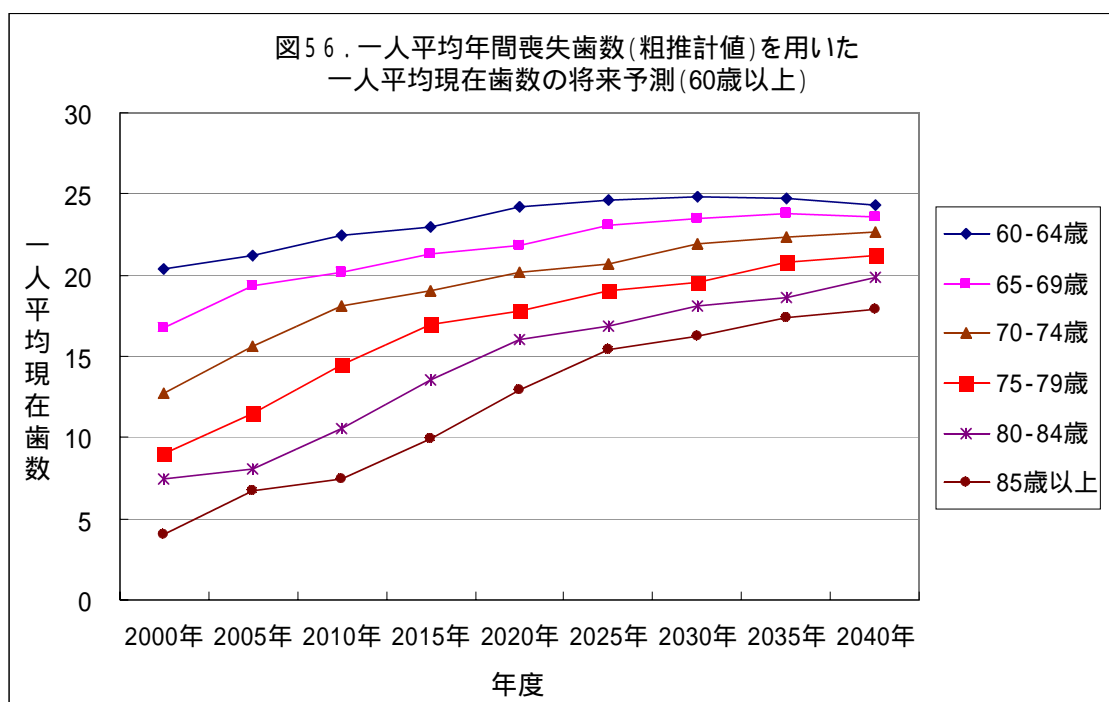
年齢階級	年間一人平均喪失歯数(粗推計値)	一人平均現在歯数									
		実績値 ^{#1}	将来推計値 ^{#2}								
			2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	
20-24歳	0.080	28.55	基礎データがないため推計不可								
25-29歳	0.083	28.53	28.15	基礎データがないため推計不可							
30-34歳	0.077	28.25	28.12	27.73	基礎データがないため推計不可						
35-39歳	0.065	27.61	27.86	27.73	27.35	基礎データがないため推計不可					
40-44歳	0.083	26.88	27.29	27.54	27.41	27.02	基礎データがないため推計不可				
45-49歳	0.112	25.21	26.46	26.87	27.12	26.99	26.61	基礎データがないため推計不可			
50-54歳	0.152	24.13	24.65	25.90	26.31	26.56	26.43	26.05	基礎データがないため推計不可		
55-59歳	0.186	22.18	23.37	23.89	25.14	25.55	25.80	25.67	25.29	基礎データがないため推計不可	
60-64歳	0.221	20.40	21.25	22.44	22.96	24.21	24.62	24.88	24.74	24.36	
65-69歳	0.232	16.80	19.30	20.15	21.34	21.86	23.11	23.52	23.77	23.64	
70-74歳	0.239	12.68	15.64	18.14	18.99	20.18	20.70	21.95	22.36	22.61	
75-79歳	0.181	9.02	11.49	14.45	16.94	17.80	18.99	19.51	20.76	21.17	
80-84歳	0.132	7.41	8.11	10.58	13.54	16.04	16.89	18.08	18.60	19.85	
85歳以上	0.075	4.03	6.75	7.45	9.92	12.88	15.38	16.23	17.42	17.94	

^{#1} 1999年厚生省歯科疾患実態調査の一人平均現在歯数のデータを使用

^{#2} 5年前の年齢階級における一人平均現在歯数 - 5年前の年齢階級における年間一人平均喪失歯数 × 5年

(算出例) 2005年の55-59歳の予測値 = 24.13 - 0.152 × 5 = 23.371

2010年の60-64歳の予測値 = 24.13 - 0.152 × 5 - 0.186 × 5 = 22.443



4. 考察

1) サンプル特性について

回収率

本調査の回収率は39.1%（表1）と低かった。

わが国で過去に行われた抜歯原因調査¹⁻¹⁰⁾は回収率が明記されていない報告が多いが、明記されているものでは30%台という報告が比較的多い^{1,2,8)}。また、一般的に郵送法の回収率は高くないとされていることから、けっして満足がいくレベルではなかったものの、妥当なレベルと解釈することもできる。

歯科医院の特性

得られたサンプル（歯科医院）の基本属性を全国統計と比較すると（表3）、性および年齢についてはほぼ全国統計とほぼ同じであったが、標榜科名と歯科衛生士数では差が認められた。このうち、標榜科名では、本サンプルの小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科の割合が低かった。小児歯科と矯正歯科については永久歯の抜歯症例がない医院が回答しなかった可能性が考えられるが、歯科口腔外科の割合が低かった理由は不明である。歯科衛生士数（平均1.52人）は全国平均（平均0.92人）に比べてかなり多かった（表3）。その理由として、本調査は診療行為の調査であるため、マンパワーに余裕がない医院では調査が実施しにくく、回答率が低さにつながった可能性が考えられる。

抜歯数のデータによる検討

本調査の分析サンプルの代表性は、基本属性データだけでなく、年間喪失歯総数および年間一人平均喪失歯数の粗推計値を他の官庁データから得られる数値と比較することにより検証することも可能である。

年間の抜歯数は、社会医療診療行為別調査のデータから算出することが可能である。この調査は、保険診療分（政府管掌・組合管掌・国民健康保険）における処置件数の1ヶ月（6ヶ月）分の全国推計値が算出される。抜歯は保険請求できる診療行為であり、漏れなく請求していると考えられるので、年間の抜歯件数を計算することができる。本調査の最新データ（平成15年）を用いて同年6月1ヶ月分の抜歯件数に12を乗じて年間の抜歯件数を算出すると1215万本であった。社会医療診療行為別調査の対象は国保・政管・組合保険のみなので、この点を考慮すると本調査との違いはより小さくなると考えられるが、全体的にみると、さほど大きな食い違いではないと考えられる。

一人平均年間喪失歯数は、厚生省歯科疾患実態調査を擬似的にコホート調査とみなすことにより算出が可能である。そこで、1993～1999年における各年齢階級（6歳区分）の一人平均年間喪失歯数を算出すると50歳以上では0.14～0.23の範囲で、今回得られた粗推計値（表8、図55）に比べ、さほど大きな違いは認められなかった。

その他バイアスの要因として考えられるもの

このほか、選択バイアスが生じる要因として、季節変動、曜日による変動、抜歯症例がなかったケースなどが考えられる。このうち季節変動については、佐賀県で行われた抜歯調

査^{12,13)}で傾向を知ることができ、今回の調査が行われた2月は、抜歯件数がやや少ないことが示されている。

曜日については、今回、連続する1週間を調査期間としたので、これに由来する選択バイアスの問題は回避できたと思われる。また、曜日による違いに関する情報(図12-図14)を把握できたので、今後の参考として利用できるものと考えられる。

抜歯症例がなかったケースについては、今までわが国で行われてきた調査では、この点が考慮されていなかったため、今回の調査では、抜歯症例がなかった場合でも調査票の返送を求めている(資料1、資料2)。また、歯科医院あたりの抜歯数の分布(図18)をみると、抜歯数0件の割合(14%)は、視覚的にみて全体の分布から逸脱していないと思われたため、この影響はさほど大きくないと考察した。

小括

以上述べたサンプルの代表性に関する問題点を整理すると、まず回収率の低さ(39.1%)と歯科医院の歯科衛生士数が全国値よりも多かったこと(表3)から、分析サンプルは比較的規模の大きな歯科医院に偏っていた点は否めないと考えられる。したがって、集計された抜歯数は母集団に比して過大であった可能性があり、そのことが影響して年間喪失歯総数の粗推計値が社会医療診療行為別調査から算出される年間の抜歯件数に比べて大きな値を示したのかもしれない。

なお、年間喪失歯総数を推計するには、歯科医院の場以外で喪失に至る歯(自然脱落)の頻度も考慮する必要があるので、今後の検討材料としたい。

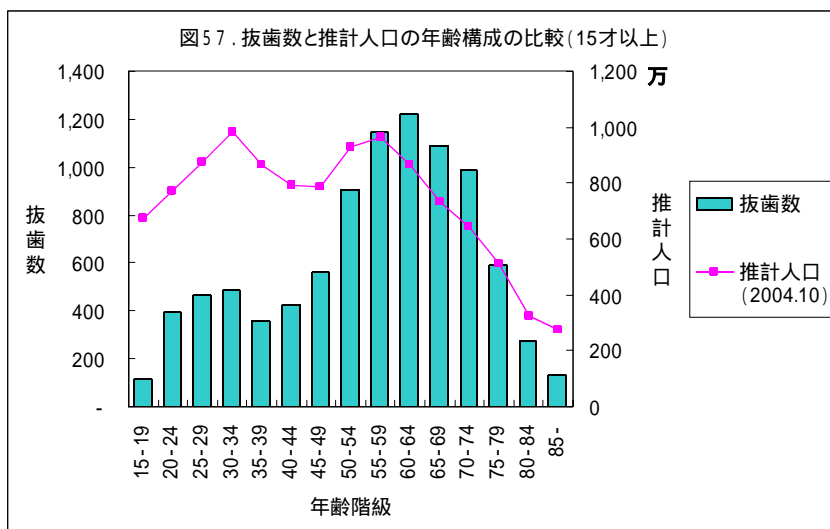
また、サンプルの代表性に関して、未回答も含めた調査対象者に事後調査を実施し、選択バイアスの可能性を検討するという手法も考えられたが、今回は諸般の事情により事後調査を実施しなかった。今後の検討材料としたい。

2) 抜歯数に関するデータの解釈について

人口構成の影響

本調査結果を解釈するうえで重要な点は、本調査では母集団を日本国民全体と捉えている点である。したがって、得られた結果は人口構成の影響を強く受けている点に留意する必要がある。

たとえば、年齢階級別にみた抜歯数の



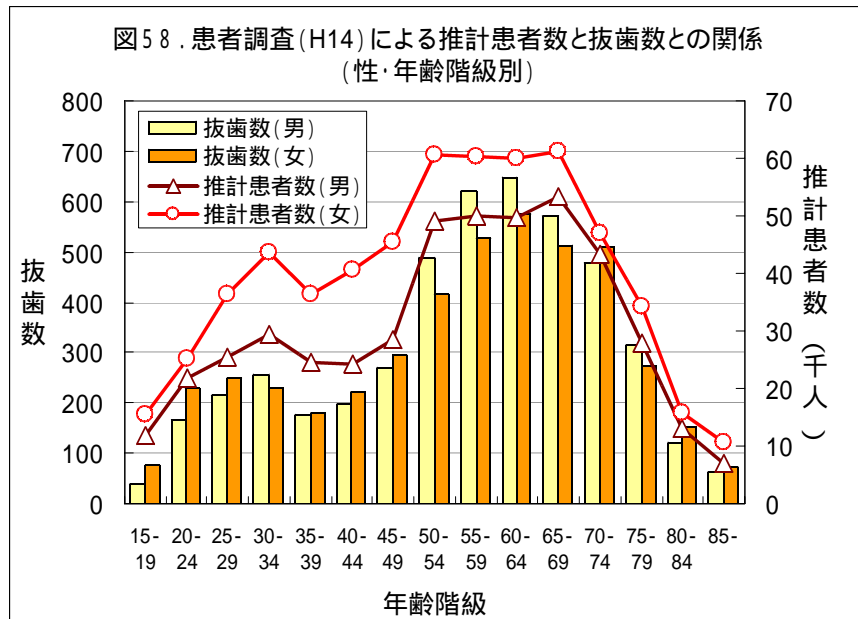
分布は二峰性を示していたが、図8のグラフに人口データを加えて示すと(図57)、喪失

歯の分布に人口構成が影響を与えることが視覚的に理解できる。

抜歯数の性差について

本調査の抜歯数は男女差がなく、年齢階級別にみても大きな差は認められなかった。

しかし、歯科医院への受診患者は女性のほうが多く、平成14年患者調査¹⁷⁾によれば、女性の患者数は男性の1.32倍である。図58は、本調査で得られた抜歯数(図



9)と患者調査による歯科診療所の推計患者数を性・年齢階級別に示したものである。推計患者数の男女差は20～64歳で著明であり、これらの年齢層が就労期に相当するため、男性では仕事による時間のなさから、駆け込み型の受診行動となり抜歯処置を受ける頻度が女性よりも高くなっているものと考えられる。

3) 抜歯の主原因

抜歯の主原因で最も多かったのは歯周病であり(図21)、近年の調査結果^{2,4-6)}と一致していた。過去に行われた抜歯原因調査のうち、岡山県^{1,2)}、神奈川県³⁻⁵⁾、群馬県⁶⁾では調査が2回実施されているが、いずれも最新調査では歯周病による抜歯の割合が最多であり、過去の調査に比べて比率が増加していることが報告されており、本調査はこれらの傾向を支持し、全国各地で類似の傾向が生じている可能性を示唆している。

歯周病による抜歯の割合が高くなってきたのは、おそらく抜歯数全体が少なくなっていく中で、治療内容の変化等の理由によりう蝕による抜歯が少なくなっていく影響が最も大きいのではないかと推察される。

歯周病による抜歯の割合が現在歯数が少なくなるほど高かった(図39-図52)ことは、歯の喪失が咬合支持の崩壊を招いて他歯の喪失要因となることを示した結果と考えられる。患者1人あたりの抜歯数が現在歯数が少ないほど多かったという結果(図53、図54)も同じ機序に由来するものと考えられる。このように、本調査結果は横断調査ではあるものの、歯の喪失に関して具体的な仮説形成を行うことが可能であり、検討を深めていく必要があると考えられる。

4) 今後の展望

今後、サンプルの代表性の検討と他の統計資料との整合性、および地域差に関する検討を進め、年間喪失歯総数および年間一人平均喪失歯数について、より精度の高い推計を行っていく予定である。

また、前述したように、本調査は今後定期的に継続実施していくことにより、より価値の高い結果が得られることが予想されるので、今後、継続して調査を実施できる体制づくりが望まれる。

5. 謝辞

今回の調査にご協力いただいた日本歯科医師会、全国の都道府県・郡市区歯科医師会、および調査の対象となった皆様に感謝申し上げます。

6. 文献

- 1) Morita, M., Kimura, T., Kanegae, M., Ishikawa, A., Watanabe, T. : Reasons for extraction of permanent teeth in Japan, *Community Dent Oral Epidemiol.*: 22, 303-306, 1994.
- 2) 大石憲一, 北川恵美子, 森田学, 渡邊達夫, 松浦孝正, 伊藤基一郎 : 岡山県における永久歯抜歯の理由について 平成 10 年調査と昭和 61 年度調査との比較、*口腔衛生学会雑誌*、51(1): 57-62、2001.
- 3) 加藤増夫、橋本弘、根岸達郎、小村和孝 : 抜歯要因調査から示唆されるもの、*日本歯科評論*、615: 151-164、1994.
- 4) 大森一昌, 橋本弘, 増井峰夫, 大田益雄 : 第 2 回神奈川県抜歯要因調査を終了して 10 年間の変化が示唆するもの、*日本歯科評論*、739: 145-154、2004.
- 5) 神奈川県歯科医師会 : 抜歯要因調査研究事業報告書、神奈川県歯科医師会、2003
- 6) 群馬県歯科医師会・公衆衛生委員会 : 群馬県抜歯原因調査研究事業報告書、群馬県歯科医師会、前橋、2004.
- 7) 松尾 明、早津良和、岡藤正樹、岡部 功、篠崎文彦 : 抜歯および抜歯原因に冠する調査、*山口医学*、47: 179-183、1998.
- 8) 鈴木恵三、石井拓男 : 北海道における抜歯の理由について、*口腔衛生学会雑誌*、37: 568-569、1987.
- 9) 新庄文明 : 永久歯抜歯の適応の判断に関連する要素、*口腔衛生学会雑誌*、39: 438-439、1989.
- 10) 宮崎県保健薬務課 : 抜歯の原因調査報告書、宮崎県、1999
- 11) 青山旬 : 8 0 2 0 を阻害する要因 : 抜歯の原因、*公衆衛生研究*、46: 113-116、1997.
- 12) 岩瀬達雄 : インターネットを利用した 8 0 2 0 モニタリングシステム、*公衆衛生情報*、32(12):53、2002 年 12 月号
- 13) 佐賀県歯科医師会ホームページ : <http://www.saga-dental.or.jp/> (2005 年 3 月 29 日 検索)
- 14) 宮武光吉、安藤雄一、青山 旬、尾崎哲則、深井穫博 : 健康日本 2 1 関連歯科医療施設調査報告書、(財) 8 0 2 0 推進財団、2004.
- 15) 平成 14 年 (2002) 医師・歯科医師・薬剤師調査の概況 (厚生労働省ホームページ : <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/02/>、2005 年 3 月 28 日 検索)
- 16) 平成 14 年 (2002) 医療施設 (静態・動態) 調査・病院報告の概況 (厚生労働省ホームページ : <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/02/index.html>、2005 年 3 月 28 日 検索)

- 17) 平成 14 年患者報告 (厚生労働省統計表データベースシステム :
http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/data/150/2002/toukeihyou/0004625/t0095530/J53_001.html)
- 18) Morita, M., Kimura, T., Kanegae, M., Ishikawa, A., Watanabe, T. : Reasons for extraction of permanent teeth in Japan, Community Dent Oral Epidemiol.: 22, 303-306, 1994.
- 19) 大石憲一, 北川恵美子, 森田学, 渡邊達夫, 松浦孝正, 伊藤基一郎 : 岡山県における永久歯抜歯の理由について 平成 10 年調査と昭和 61 年度調査との比較、口腔衛生学会雑誌、51(1): 57-62、2001.
- 20) 加藤増夫、橋本弘、根岸達郎、小村和孝 : 抜歯要因調査から示唆されるもの、日本歯科評論、615: 151-164、1994.
- 21) 大森一昌, 橋本弘, 増井峰夫, 大田益雄 : 第 2 回神奈川県抜歯要因調査を終了して 10 年間の変化が示唆するもの、日本歯科評論、739: 145-154、2004.
- 22) 神奈川県歯科医師会 : 抜歯要因調査研究事業報告書、神奈川県歯科医師会、2003
- 23) 群馬県歯科医師会・公衆衛生委員会 : 群馬県抜歯原因調査研究事業報告書、群馬県歯科医師会、前橋、2004.
- 24) 松尾 明、早津良和、岡藤正樹、岡部 功、篠崎文彦 : 抜歯および抜歯原因に冠する調査、山口医学、47: 179-183、1998.
- 25) 鈴木恵三、石井拓男 : 北海道における抜歯の理由について、口腔衛生学会雑誌、37: 568-569、1987.
- 26) 新庄文明 : 永久歯抜歯の適応の判断に関連する要素、口腔衛生学会雑誌、39: 438-439、1989.
- 27) 宮崎県保健薬務課 : 抜歯の原因調査報告書、宮崎県、1999
- 28) 青山旬 : 8 0 2 0 を阻害する要因 : 抜歯の原因、公衆衛生研究、46: 113-116、1997.
- 29) 岩瀬達雄 : インターネットを利用した 8 0 2 0 モニタリングシステム、公衆衛生情報、2002 年 12 月号
- 30) 佐賀県歯科医師会ホームページ : <http://www.saga-dental.or.jp/> (2005 年 3 月 29 日 検索)
- 31) 宮武光吉、安藤雄一、青山 旬、尾崎哲則、深井穂博 : 健康日本 2 1 関連歯科医療施設調査報告書、(財)8 0 2 0 推進財団、2004.
- 32) 平成 14 年 (2002) 医師・歯科医師・薬剤師調査の概況 (厚生労働省ホームページ : <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/02/>、2005 年 3 月 28 日検索)
- 33) 平成 14 年 (2002) 医療施設 (静態・動態) 調査・病院報告の概況 (厚生労働省ホームページ : <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/02/index.html>、2005 年 3 月 28 日検索)
- 34) 平成 14 年患者報告 (厚生労働省統計表データベースシステム :
http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/data/150/2002/toukeihyou/0004625/t0095530/J53_001.html)

7 . 統計表

7. 統計表

- ・ 統計表 1 . 日付別回収状況
- ・ 統計表 2 . 対象となった歯科医院の院長の性・年齢別分布
- ・ 統計表 3 . 抜歯を受けた患者の性・年齢分布
- ・ 統計表 4 . 現在歯数の基礎統計量（年齢階級別）
- ・ 統計表 5 . 義歯使用状況（年齢階級別）
- ・ 統計表 6 . 性・年齢別にみた抜歯数
- ・ 統計表 7 . 抜歯部位別にみた抜歯数
- ・ 統計表 8 . 抜歯部位・年齢階級別にみた抜歯数の分布
- ・ 統計表 9 . 日付別にみた抜歯数
- ・ 統計表 10 . 日付別にみた抜歯数と年齢階級別内訳（男女計）
- ・ 統計表 11 . 患者 1 人あたり抜歯数の分布
- ・ 統計表 12 . 患者 1 人あたりの抜歯数と年齢階級別分布
- ・ 統計表 13 . 歯科医院における抜歯数の分布
- ・ 統計表 14 . 主原因別にみた抜歯数
- ・ 統計表 15 . 抜歯主原因の性別比較
- ・ 統計表 16 . 抜歯主原因の性別比較（年齢階級別）
- ・ 統計表 17 . 抜歯部位別にみた抜歯主原因
- ・ 統計表 18 . 抜去歯の状態別にみた抜歯数
- ・ 統計表 19 . 抜去歯の状態の性別比較
- ・ 統計表 20 . 抜去歯の状態（状態・部位別）
- ・ 統計表 21 . 歯髄の状態別にみた抜歯数
- ・ 統計表 22 . 抜去歯の歯髄の状態（性別比較）
- ・ 統計表 23 . 抜去歯の歯髄の状態（抜歯部位別）
- ・ 統計表 24 . インフォームドコンセントの分布
- ・ 統計表 25 . 現在歯数と抜歯原因の関連（年齢階級別）
- ・ 統計表 26 . 患者あたり抜歯数と現在歯数の関係（年齢階級別）

統計表1. 日付別回収状況

日付(平成17年)	回収数	有効回収数	無効回収数	有効回収延べ数	有効回収率
1月26日(水)	2	0	2	0	0.0%
1月27日(木)	3	0	3	0	0.0%
1月28日(金)	2	0	2	0	0.0%
1月31日(月)	1	0	1	0	0.0%
2月1日(火)	0	0	0	0	0.0%
2月2日(水)	1	0	1	0	0.0%
2月3日(木)	0	0	0	0	0.0%
2月4日(金)	0	0	0	0	0.0%
2月7日(月)	0	0	0	0	0.0%
2月8日(火)	2	2	0	2	0.0%
2月9日(水)	10	10	0	12	0.2%
2月10日(木)	285	285	0	297	5.8%
2月14日(月)	1123	1122	1	1419	27.7%
2月15日(火)	96	96	0	1515	29.6%
2月16日(水)	97	97	0	1612	31.5%
2月17日(木)	144	144	0	1756	34.3%
2月18日(金)	72	72	0	1828	35.7%
2月21日(月)	75	75	0	1903	37.2%
2月22日(火)	5	5	0	1908	37.3%
2月23日(水)	9	9	0	1917	37.5%
2月24日(木)	12	12	0	1929	37.7%
2月25日(金)	7	7	0	1936	37.8%
2月28日(月)	43	43	0	1979	38.7%
3月1日(火)	2	2	0	1981	38.7%
3月2日(水)	2	2	0	1983	38.8%
3月3日(木)	3	3	0	1986	38.8%
3月4日(金)	3	3	0	1989	38.9%
3月7日(月)	4	4	0	1993	39.0%
3月8日(火)	2	2	0	1995	39.0%
3月9日(水)	1	1	0	1996	39.0%
3月10日(木)	4	4	0	2000	39.1%
3月11日(金)	0	0	0	2000	39.1%
3月14日(月)	1	1	0	2001	39.1%
3月15日(火)	0	0	0	2001	39.1%
合計	2011	2001	10	2001	39.1%
有効発送数	5116				

調査実施

調査票発送日:平成17年 1月24日(月)

督促状の発送はなし

統計表2. 対象となった歯科医院の院長の性・年齢別分布

	人数				割合				
	男	女	不明	計	男	女	不明	計	計 [#]
35歳未満	47	3	0	50	2.9%	2.9%	0.0%	2.5%	2.9%
35～39歳	126	10	0	136	7.7%	9.5%	0.0%	6.8%	7.9%
40～44歳	278	16	2	296	17.0%	15.2%	0.8%	14.8%	17.1%
45～49歳	323	19	1	343	19.8%	18.1%	0.4%	17.1%	19.9%
50～54歳	310	21	0	331	19.0%	20.0%	0.0%	16.5%	19.2%
55～59歳	260	12	0	272	15.9%	11.4%	0.0%	13.6%	15.7%
60～64歳	133	10	0	143	8.1%	9.5%	0.0%	7.1%	8.3%
65～69歳	94	9	0	103	5.7%	8.6%	0.0%	5.1%	6.0%
70～74歳	25	1	0	26	1.5%	1.0%	0.0%	1.3%	1.5%
75歳以上	27	0	0	27	1.7%	0.0%	0.0%	1.3%	1.6%
不明	12	4	258	274	0.7%	3.8%	98.9%	13.7%	
計	1,635	105	261	2,001	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人数	1623	101		1724					
平均	50.71	50.23		50.68					
SD	9.44	9.47		9.44					
最小値	29	29		29					
25%値	44	43		44					
中央値	50	50		50					
75%値	56	56		56					
最大値	85	70		85					

分母から「不明」を除外

統計表3 . 抜歯を受けた患者の性・年齢分布

年齢	男	女	不明	計
15歳未満	22	29	0	51
15～19歳	38	70	0	108
20～24歳	160	213	2	375
25～29歳	202	236	0	438
30～34歳	229	216	1	446
35～39歳	154	167	1	322
40～44歳	171	193	1	365
45～49歳	214	248	1	463
50～54歳	386	345	0	731
55～59歳	482	431	1	914
60～64歳	490	428	0	918
65～69歳	423	396	4	823
70～74歳	351	371	2	724
75～79歳	214	205	1	420
80～84歳	92	118	0	210
85歳以上	39	53	0	92
不明	45	50	4	99
計	3,712	3,769	18	7,499
平均	54.28	53.18		53.73
SD	16.87	18.00		17.46
最小値	8	10		8
25%値	43	39		41
中央値	57	56		56
75%値	67	67		67
最大値	96	95		96

統計表4. 現在歯数の基礎統計量(年齢階級別)

年齢階級	人数	平均	SD	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値	全国値#
15歳未満	46	24.17	3.52	13	23	25	26	28	
15～19歳	99	28.42	1.68	24	28	28	29	32	28.03
20～24歳	365	29.25	1.86	22	28	29	31	32	28.74
25～29歳	430	28.91	2.12	15	28	29	30	32	28.89
30～34歳	442	28.33	2.78	9	28	29	30	32	28.50
35～39歳	313	26.97	3.93	4	26	28	29	32	27.86
40～44歳	359	25.61	4.53	6	24	27	28	32	27.03
45～49歳	450	23.32	5.47	3	20	25	27	32	26.19
50～54歳	718	21.43	6.52	1	18	23	26	32	24.76
55～59歳	899	20.44	6.82	1	16	22	26	32	21.97
60～64歳	901	18.63	7.21	1	14	20	25	32	21.40
65～69歳	802	17.90	7.00	1	13	19	23	32	17.76
70～74歳	706	15.27	7.18	1	10	15	21	32	13.80
75～79歳	406	13.81	7.40	1	8	13	20	30	10.06
80～84歳	201	12.70	7.41	1	7	12	18	30	8.85
85歳以上	90	11.94	7.43	1	5	12	17	28	4.48
計	7,227	21.12	7.86	1	16	23	28	32	

1999年厚生省歯科疾患実態調査

統計表5. 義歯使用状況(年齢階級別)

年齢階級		人数					割合				
		なし	PD	FD	無回答	計	なし	PD	FD	無回答	計
上顎	15歳未満	47	0	0	4	51	100.0%	0.0%	0.0%	-	100.0%
	15～19歳	101	0	0	7	108	100.0%	0.0%	0.0%	-	100.0%
	20～24歳	350	0	0	25	375	100.0%	0.0%	0.0%	-	100.0%
	25～29歳	411	0	0	27	438	100.0%	0.0%	0.0%	-	100.0%
	30～34歳	422	3	0	21	446	99.3%	0.7%	0.0%	-	100.0%
	35～39歳	290	10	2	20	322	96.0%	3.3%	0.7%	-	100.0%
	40～44歳	317	27	0	21	365	92.2%	7.8%	0.0%	-	100.0%
	45～49歳	384	58	5	16	463	85.9%	13.0%	1.1%	-	100.0%
	50～54歳	509	169	16	37	731	73.3%	24.4%	2.3%	-	100.0%
	55～59歳	578	256	35	45	914	66.5%	29.5%	4.0%	-	100.0%
	60～64歳	500	334	62	22	918	55.8%	37.3%	6.9%	-	100.0%
	65～69歳	412	331	54	26	823	51.7%	41.5%	6.8%	-	100.0%
	70～74歳	240	378	84	22	724	34.2%	53.8%	12.0%	-	100.0%
	75～79歳	120	214	70	16	420	29.7%	53.0%	17.3%	-	100.0%
	80～84歳	49	123	34	4	210	23.8%	59.7%	16.5%	-	100.0%
	85歳以上	18	49	22	3	92	20.2%	55.1%	24.7%	-	100.0%
	不明	56	28	4	11	99	63.6%	31.8%	4.5%	-	100.0%
計	4,804	1,980	388	327	7,499	67.0%	27.6%	5.4%	-	100.0%	
下顎	15歳未満	47	1	0	3	51	97.9%	2.1%	0.0%	-	100.0%
	15～19歳	101	0	0	7	108	100.0%	0.0%	0.0%	-	100.0%
	20～24歳	347	1	0	27	375	99.7%	0.3%	0.0%	-	100.0%
	25～29歳	408	3	0	27	438	99.3%	0.7%	0.0%	-	100.0%
	30～34歳	416	2	0	28	446	99.5%	0.5%	0.0%	-	100.0%
	35～39歳	296	7	0	19	322	97.7%	2.3%	0.0%	-	100.0%
	40～44歳	323	17	1	24	365	94.7%	5.0%	0.3%	-	100.0%
	45～49歳	381	61	2	19	463	85.8%	13.7%	0.5%	-	100.0%
	50～54歳	520	168	7	36	731	74.8%	24.2%	1.0%	-	100.0%
	55～59歳	606	258	8	42	914	69.5%	29.6%	0.9%	-	100.0%
	60～64歳	540	339	14	25	918	60.5%	38.0%	1.6%	-	100.0%
	65～69歳	438	332	25	28	823	55.1%	41.8%	3.1%	-	100.0%
	70～74歳	282	392	27	23	724	40.2%	55.9%	3.9%	-	100.0%
	75～79歳	129	259	18	14	420	31.8%	63.8%	4.4%	-	100.0%
	80～84歳	56	133	16	5	210	27.3%	64.9%	7.8%	-	100.0%
	85歳以上	24	53	8	7	92	28.2%	62.4%	9.4%	-	100.0%
	不明	56	29	1	13	99	65.1%	33.7%	1.2%	-	100.0%
計	4,970	2,055	127	347	7,499	69.5%	28.7%	1.8%	-	100.0%	

統計表6.性・年齢別にみた抜歯数

年齢階級	男	女	不明	計
15歳未満	22	30	0	52
15～19歳	38	77	0	115
20～24歳	167	228	2	397
25～29歳	216	249	0	465
30～34歳	256	230	1	487
35～39歳	176	181	1	358
40～44歳	199	222	1	422
45～49歳	269	295	1	565
50～54歳	490	414	0	904
55～59歳	619	526	1	1,146
60～64歳	648	576	0	1,224
65～69歳	570	514	5	1,089
70～74歳	478	509	2	989
75～79歳	315	275	2	592
80～84歳	122	151	0	273
85歳以上	61	71	0	132
不明	67	69	4	140
計	4,713	4,617	20	9,350

統計表7.抜歯部位別にみた抜歯数

抜歯部位	抜歯数	割合
18	472	5.0%
17	333	3.6%
16	292	3.1%
15	291	3.1%
14	304	3.3%
13	261	2.8%
12	269	2.9%
11	249	2.7%
21	261	2.8%
22	247	2.6%
23	246	2.6%
24	294	3.1%
25	289	3.1%
26	301	3.2%
27	335	3.6%
28	447	4.8%
48	463	5.0%
47	355	3.8%
46	352	3.8%
45	274	2.9%
44	243	2.6%
43	140	1.5%
42	182	1.9%
41	192	2.1%
31	208	2.2%
32	185	2.0%
33	163	1.7%
34	214	2.3%
35	275	2.9%
36	313	3.3%
37	383	4.1%
38	502	5.4%
不明	15	0.2%
計	9,350	100.0%

統計表8. 抜歯部位・年齢階級にみた抜歯数の分布

抜歯部位	年齢階級																
	人数								割合(不明除外)								
	25歳未満	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	不明	計	25歳未満	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	計
18	104	196	71	44	34	13	3	7	472	22.4%	42.2%	15.3%	9.5%	7.3%	2.8%	0.6%	100.0%
17	2	26	39	68	95	69	28	6	333	0.6%	8.0%	11.9%	20.8%	29.1%	21.1%	8.6%	100.0%
16	7	25	18	60	86	67	23	6	292	2.4%	8.7%	6.3%	21.0%	30.1%	23.4%	8.0%	100.0%
15	8	11	18	57	85	77	33	2	291	2.8%	3.8%	6.2%	19.7%	29.4%	26.6%	11.4%	100.0%
14	25	11	21	54	80	83	28	2	304	8.3%	3.6%	7.0%	17.9%	26.5%	27.5%	9.3%	100.0%
13	0	3	3	42	75	89	45	4	261	0.0%	1.2%	1.2%	16.3%	29.2%	34.6%	17.5%	100.0%
12	1	8	15	50	76	77	39	3	269	0.4%	3.0%	5.6%	18.8%	28.6%	28.9%	14.7%	100.0%
11	2	6	8	41	85	68	32	7	249	0.8%	2.5%	3.3%	16.9%	35.1%	28.1%	13.2%	100.0%
21	2	4	12	49	71	80	38	5	261	0.8%	1.6%	4.7%	19.1%	27.7%	31.3%	14.8%	100.0%
22	2	3	8	43	74	82	28	7	247	0.8%	1.3%	3.3%	17.9%	30.8%	34.2%	11.7%	100.0%
23	0	3	2	34	75	87	41	4	246	0.0%	1.2%	0.8%	14.0%	31.0%	36.0%	16.9%	100.0%
24	17	8	22	48	82	75	38	4	294	5.9%	2.8%	7.6%	16.6%	28.3%	25.9%	13.1%	100.0%
25	6	25	21	44	91	68	33	1	289	2.1%	8.7%	7.3%	15.3%	31.6%	23.6%	11.5%	100.0%
26	3	19	25	49	99	78	27	1	301	1.0%	6.3%	8.3%	16.3%	33.0%	26.0%	9.0%	100.0%
27	9	19	37	69	107	62	27	5	335	2.7%	5.8%	11.2%	20.9%	32.4%	18.8%	8.2%	100.0%
28	93	169	77	44	35	19	4	6	447	21.1%	38.3%	17.5%	10.0%	7.9%	4.3%	0.9%	100.0%
48	99	138	67	45	54	39	13	8	463	21.8%	30.3%	14.7%	9.9%	11.9%	8.6%	2.9%	100.0%
47	5	28	32	78	113	67	26	6	355	1.4%	8.0%	9.2%	22.3%	32.4%	19.2%	7.4%	100.0%
46	23	30	30	65	110	68	23	3	352	6.6%	8.6%	8.6%	18.6%	31.5%	19.5%	6.6%	100.0%
45	11	6	20	58	71	69	36	3	274	4.1%	2.2%	7.4%	21.4%	26.2%	25.5%	13.3%	100.0%
44	11	2	11	26	71	71	47	4	243	4.6%	0.8%	4.6%	10.9%	29.7%	29.7%	19.7%	100.0%
43	0	2	5	12	33	50	35	3	140	0.0%	1.5%	3.6%	8.8%	24.1%	36.5%	25.5%	100.0%
42	1	0	7	23	46	57	43	5	182	0.6%	0.0%	4.0%	13.0%	26.0%	32.2%	24.3%	100.0%
41	2	0	5	23	51	65	43	3	192	1.1%	0.0%	2.6%	12.2%	27.0%	34.4%	22.8%	100.0%
31	0	1	8	20	52	76	46	5	208	0.0%	0.5%	3.9%	9.9%	25.6%	37.4%	22.7%	100.0%
32	0	0	6	17	61	55	42	4	185	0.0%	0.0%	3.3%	9.4%	33.7%	30.4%	23.2%	100.0%
33	2	0	3	16	38	61	39	4	163	1.3%	0.0%	1.9%	10.1%	23.9%	38.4%	24.5%	100.0%
34	9	5	8	30	61	61	37	3	214	4.3%	2.4%	3.8%	14.2%	28.9%	28.9%	17.5%	100.0%
35	2	11	14	53	85	63	41	6	275	0.7%	4.1%	5.2%	19.7%	31.6%	23.4%	15.2%	100.0%
36	15	25	44	43	91	75	16	4	313	4.9%	8.1%	14.2%	13.9%	29.4%	24.3%	5.2%	100.0%
37	7	22	50	98	106	71	25	4	383	1.8%	5.8%	13.2%	25.9%	28.0%	18.7%	6.6%	100.0%
38	96	146	73	64	72	31	15	5	502	19.3%	29.4%	14.7%	12.9%	14.5%	6.2%	3.0%	100.0%
不明	0	0	0	2	5	5	3	0	15	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	33.3%	33.3%	20.0%	100.0%
Total	564	952	780	1,469	2,370	2,078	997	140	9,350	6.1%	10.3%	8.5%	16.0%	25.7%	22.6%	10.8%	100.0%

統計表9. 日付別にみた抜歯数

日付	抜歯数	割合
2月1日(火)	1,867	20.0%
2月2日(水)	1,556	16.6%
2月3日(木)	1,035	11.1%
2月4日(金)	1,862	19.9%
2月5日(土)	954	10.2%
2月6日(日)	37	0.4%
2月7日(月)	2,035	21.8%
不明	4	0.0%
計	9,350	100.0%

統計表10. 日付別にみた抜歯数と年齢階級別内訳(男女計)

		上段:人数 / 下段:割合								
		25歳未満	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75歳以上	不明	Total
男女計	2月1日(火)	103 5.5%	159 8.5%	160 8.6%	268 14.4%	489 26.2%	470 25.2%	216 11.6%	2 0.1%	1,867 100.0%
	2月2日(水)	84 5.4%	144 9.3%	118 7.6%	261 16.8%	402 25.8%	354 22.8%	165 10.6%	28 1.8%	1,556 100.0%
	2月3日(木)	68 6.6%	100 9.7%	82 7.9%	171 16.5%	289 27.9%	206 19.9%	96 9.3%	23 2.2%	1,035 100.0%
	2月4日(金)	102 5.5%	195 10.5%	161 8.6%	286 15.4%	451 24.2%	430 23.1%	207 11.1%	30 1.6%	1,862 100.0%
	2月5日(土)	80 8.4%	155 16.2%	128 13.4%	168 17.6%	210 22.0%	136 14.3%	71 7.4%	6 0.6%	954 100.0%
	2月6日(日)	5 13.5%	6 16.2%	3 8.1%	6 16.2%	10 27.0%	5 13.5%	2 5.4%	0 0.0%	37 100.0%
	2月7日(月)	122 6.0%	192 9.4%	127 6.2%	309 15.2%	517 25.4%	477 23.4%	240 11.8%	51 2.5%	2,035 100.0%
	不明	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	Total	564 6.0%	952 10.2%	780 8.3%	1,469 15.7%	2,370 25.3%	2,078 22.2%	997 10.7%	140 1.5%	9,350 100.0%

統計表11. 患者1人あたり抜歯数の分布

抜歯数	人数 (回答数)	割合
1歯	6,183	82.5%
2歯	955	12.7%
3歯	254	3.4%
4歯	71	0.9%
5歯	19	0.3%
6歯	9	0.1%
7歯	3	0.0%
8歯	4	0.1%
9歯	1	0.0%
Total	7,499	100.0%

統計表12. 患者1人あたりの抜歯数と年齢階級別分布

年齢階級	抜歯数						割合					
	1歯	2歯	3歯	4歯	5歯以上	計	1歯	2歯	3歯	4歯	5歯以上	計
15歳未満	50	1	0	0	0	51	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15～19歳	103	3	2	0	0	108	95.4%	2.8%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
20～24歳	353	22	0	0	0	375	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
25～29歳	414	22	1	1	0	438	94.5%	5.0%	0.2%	0.2%	0.0%	100.0%
30～34歳	413	26	6	1	0	446	92.6%	5.8%	1.3%	0.2%	0.0%	100.0%
35～39歳	292	25	4	1	0	322	90.7%	7.8%	1.2%	0.3%	0.0%	100.0%
40～44歳	318	40	6	0	1	365	87.1%	11.0%	1.6%	0.0%	0.3%	100.0%
45～49歳	390	49	21	2	1	463	84.2%	10.6%	4.5%	0.4%	0.2%	100.0%
50～54歳	609	93	15	10	4	731	83.3%	12.7%	2.1%	1.4%	0.5%	100.0%
55～59歳	753	112	35	9	5	914	82.4%	12.3%	3.8%	1.0%	0.5%	100.0%
60～64歳	704	153	44	12	5	918	76.7%	16.7%	4.8%	1.3%	0.5%	100.0%
65～69歳	634	140	28	17	4	823	77.0%	17.0%	3.4%	2.1%	0.5%	100.0%
70～74歳	547	117	42	11	7	724	75.6%	16.2%	5.8%	1.5%	1.0%	100.0%
75～79歳	309	75	24	6	6	420	73.6%	17.9%	5.7%	1.4%	1.4%	100.0%
80～84歳	160	40	8	1	1	210	76.2%	19.0%	3.8%	0.5%	0.5%	100.0%
85歳以上	65	16	10	0	1	92	70.7%	17.4%	10.9%	0.0%	1.1%	100.0%
計	6,114	934	246	71	35	7,400	82.6%	12.6%	3.3%	1.0%	0.5%	100.0%

統計表13. 歯科医院あたり抜歯数の分布

抜歯数	人数 (回答数)	割合
0歯	282	14.1%
1歯	224	11.2%
2歯	253	12.6%
3歯	212	10.6%
4歯	189	9.4%
5歯	178	8.9%
6歯	142	7.1%
7歯	107	5.3%
8歯	87	4.3%
9歯	83	4.1%
10歯	55	2.7%
11歯	45	2.2%
12歯	34	1.7%
13歯	24	1.2%
14歯	25	1.2%
15歯	11	0.5%
16歯	8	0.4%
17歯	6	0.3%
18歯	5	0.2%
19歯	6	0.3%
20歯以上	25	1.2%
計	2,001	100.0%

統計表14. 主原因別にみた抜歯数

年齢階級		う蝕	歯周病	破折	矯正	その他	無効 (複数 選択)	無回答	計
抜 歯 数	15歳未満	5	1	0	42	4	0	0	52
	15～19歳	29	0	2	21	62	0	1	115
	20～24歳	139	12	8	20	215	0	3	397
	25～29歳	219	13	16	7	206	3	1	465
	30～34歳	254	30	26	8	166	3	0	487
	35～39歳	179	60	30	10	74	3	2	358
	40～44歳	176	114	59	1	69	0	3	422
	45～49歳	202	232	76	0	49	6	0	565
	50～54歳	268	465	104	0	63	3	1	904
	55～59歳	301	625	151	2	52	14	1	1,146
	60～64歳	328	682	153	0	49	10	2	1,224
	65～69歳	326	547	150	0	56	5	5	1,089
	70～74歳	280	509	144	0	52	1	3	989
	75～79歳	176	316	70	0	25	2	3	592
	80～84歳	76	136	45	0	11	4	1	273
	85歳以上	28	78	23	0	3	0	0	132
	不明	33	78	11	1	16	1	0	140
計	3,019	3,898	1,068	112	1,172	55	6	9,350	
割 合	15歳未満	9.6%	1.9%	0.0%	80.8%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	15～19歳	25.2%	0.0%	1.7%	18.3%	53.9%	0.0%	0.9%	100.0%
	20～24歳	35.0%	3.0%	2.0%	5.0%	54.2%	0.0%	0.8%	100.0%
	25～29歳	47.1%	2.8%	3.4%	1.5%	44.3%	0.6%	0.2%	100.0%
	30～34歳	52.2%	6.2%	5.3%	1.6%	34.1%	0.6%	0.0%	100.0%
	35～39歳	50.0%	16.8%	8.4%	2.8%	20.7%	0.8%	0.6%	100.0%
	40～44歳	41.7%	27.0%	14.0%	0.2%	16.4%	0.0%	0.7%	100.0%
	45～49歳	35.8%	41.1%	13.5%	0.0%	8.7%	1.1%	0.0%	100.0%
	50～54歳	29.6%	51.4%	11.5%	0.0%	7.0%	0.3%	0.1%	100.0%
	55～59歳	26.3%	54.5%	13.2%	0.2%	4.5%	1.2%	0.1%	100.0%
	60～64歳	26.8%	55.7%	12.5%	0.0%	4.0%	0.8%	0.2%	100.0%
	65～69歳	29.9%	50.2%	13.8%	0.0%	5.1%	0.5%	0.5%	100.0%
	70～74歳	28.3%	51.5%	14.6%	0.0%	5.3%	0.1%	0.3%	100.0%
	75～79歳	29.7%	53.4%	11.8%	0.0%	4.2%	0.3%	0.5%	100.0%
	80～84歳	27.8%	49.8%	16.5%	0.0%	4.0%	1.5%	0.4%	100.0%
	85歳以上	21.2%	59.1%	17.4%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	不明	23.6%	55.7%	7.9%	0.7%	11.4%	0.7%	0.0%	100.0%
計	32.3%	41.7%	11.4%	1.2%	12.5%	0.6%	0.1%	100.0%	

統計表15. 抜歯主要原因の性別比較

	歯数		割合	
	男	女	男	女
う蝕	1,473	1,512	31.8%	33.3%
歯周病	2,126	1,686	45.9%	37.2%
破折	485	570	10.5%	12.6%
矯正	25	86	0.5%	1.9%
その他	501	651	10.8%	14.4%
無効	24	30	0.5%	0.7%
計	4,634	4,535	100.0%	100.0%

統計表16. 抜歯主要原因の性別比較(年齢階級別)

年齢階級	男性							女性							
	う蝕	歯周病	破折	矯正	その他	無効	計	う蝕	歯周病	破折	矯正	その他	無効	計	
歯数	15歳未満	4	1	0	14	3	0	22	1	0	0	28	1	0	30
	15～19歳	13	0	1	6	18	0	38	16	0	1	15	44	0	76
	20～24歳	71	8	6	3	78	0	166	68	4	2	17	135	0	226
	25～29歳	117	8	6	0	83	1	215	102	5	10	7	123	2	249
	30～34歳	143	13	13	1	84	2	256	111	17	13	7	81	1	230
	35～39歳	91	40	16	1	27	1	176	87	20	14	9	47	2	179
	40～44歳	83	49	29	0	35	0	196	93	65	30	1	33	0	222
	45～49歳	81	130	32	0	24	2	269	121	101	44	0	25	4	295
	50～54歳	121	282	53	0	32	1	489	147	183	51	0	31	2	414
	55～59歳	152	372	61	0	26	8	619	149	253	89	2	26	6	525
	60～64歳	154	388	79	0	25	2	648	174	294	74	0	24	8	574
	65～69歳	179	300	60	0	24	4	567	147	242	90	0	32	1	512
	70～74歳	124	261	67	0	25	1	478	156	247	76	0	27	0	506
	75～79歳	98	173	31	0	10	1	313	78	142	39	0	15	1	275
	80～84歳	30	68	16	0	6	1	121	46	68	29	0	5	3	151
85歳以上	12	33	15	0	1	0	61	16	45	8	0	2	0	71	
計	1,473	2,126	485	25	501	24	4,634	1,512	1,686	570	86	651	30	4,535	
割合	15歳未満	18%	5%	0%	64%	14%	0%	100%	3%	0%	0%	93%	3%	0%	100%
	15～19歳	34%	0%	3%	16%	47%	0%	100%	21%	0%	1%	20%	58%	0%	100%
	20～24歳	43%	5%	4%	2%	47%	0%	100%	30%	2%	1%	8%	60%	0%	100%
	25～29歳	54%	4%	3%	0%	39%	0%	100%	41%	2%	4%	3%	49%	1%	100%
	30～34歳	56%	5%	5%	0%	33%	1%	100%	48%	7%	6%	3%	35%	0%	100%
	35～39歳	52%	23%	9%	1%	15%	1%	100%	49%	11%	8%	5%	26%	1%	100%
	40～44歳	42%	25%	15%	0%	18%	0%	100%	42%	29%	14%	0%	15%	0%	100%
	45～49歳	30%	48%	12%	0%	9%	1%	100%	41%	34%	15%	0%	8%	1%	100%
	50～54歳	25%	58%	11%	0%	7%	0%	100%	36%	44%	12%	0%	7%	0%	100%
	55～59歳	25%	60%	10%	0%	4%	1%	100%	28%	48%	17%	0%	5%	1%	100%
	60～64歳	24%	60%	12%	0%	4%	0%	100%	30%	51%	13%	0%	4%	1%	100%
	65～69歳	32%	53%	11%	0%	4%	1%	100%	29%	47%	18%	0%	6%	0%	100%
	70～74歳	26%	55%	14%	0%	5%	0%	100%	31%	49%	15%	0%	5%	0%	100%
	75～79歳	31%	55%	10%	0%	3%	0%	100%	28%	52%	14%	0%	5%	0%	100%
	80～84歳	25%	56%	13%	0%	5%	1%	100%	30%	45%	19%	0%	3%	2%	100%
85歳以上	20%	54%	25%	0%	2%	0%	100%	23%	63%	11%	0%	3%	0%	100%	
計	32%	46%	10%	1%	11%	1%	100%	33%	37%	13%	2%	14%	1%	100%	

統計表17. 歯別にみた抜歯主原因

抜歯部位	抜歯主原因													
	本数							割合						
	う蝕	歯周病	破折	矯正	その他	無効	計	う蝕	歯周病	破折	矯正	その他	無効	計
18	258	58	3	3	150	0	472	54.7%	12.3%	0.6%	0.6%	31.8%	0.0%	100.0%
17	112	168	40	0	10	3	333	33.6%	50.5%	12.0%	0.0%	3.0%	0.9%	100.0%
16	95	124	46	0	21	6	292	32.5%	42.5%	15.8%	0.0%	7.2%	2.1%	100.0%
15	81	142	52	0	15	1	291	27.8%	48.8%	17.9%	0.0%	5.2%	0.3%	100.0%
14	87	121	51	30	13	2	304	28.6%	39.8%	16.8%	9.9%	4.3%	0.7%	100.0%
13	76	122	48	0	14	1	261	29.1%	46.7%	18.4%	0.0%	5.4%	0.4%	100.0%
12	62	152	42	0	10	2	268	23.1%	56.7%	15.7%	0.0%	3.7%	0.7%	100.0%
11	55	148	31	0	11	3	248	22.2%	59.7%	12.5%	0.0%	4.4%	1.2%	100.0%
21	55	156	37	1	12	0	261	21.1%	59.8%	14.2%	0.4%	4.6%	0.0%	100.0%
22	66	118	50	1	12	0	247	26.7%	47.8%	20.2%	0.4%	4.9%	0.0%	100.0%
23	85	106	48	0	6	1	246	34.6%	43.1%	19.5%	0.0%	2.4%	0.4%	100.0%
24	94	126	42	18	12	2	294	32.0%	42.9%	14.3%	6.1%	4.1%	0.7%	100.0%
25	98	116	55	2	16	2	289	33.9%	40.1%	19.0%	0.7%	5.5%	0.7%	100.0%
26	92	142	44	0	22	1	301	30.6%	47.2%	14.6%	0.0%	7.3%	0.3%	100.0%
27	112	166	31	1	21	3	334	33.5%	49.7%	9.3%	0.3%	6.3%	0.9%	100.0%
28	231	58	1	4	153	0	447	51.7%	13.0%	0.2%	0.9%	34.2%	0.0%	100.0%
38	176	60	6	6	245	6	499	35.3%	12.0%	1.2%	1.2%	49.1%	1.2%	100.0%
37	134	165	48	0	32	2	381	35.2%	43.3%	12.6%	0.0%	8.4%	0.5%	100.0%
36	135	91	54	0	27	4	311	43.4%	29.3%	17.4%	0.0%	8.7%	1.3%	100.0%
35	90	128	36	5	15	1	275	32.7%	46.5%	13.1%	1.8%	5.5%	0.4%	100.0%
34	72	90	29	12	8	1	212	34.0%	42.5%	13.7%	5.7%	3.8%	0.5%	100.0%
33	37	105	16	1	4	0	163	22.7%	64.4%	9.8%	0.6%	2.5%	0.0%	100.0%
32	41	128	11	0	5	0	185	22.2%	69.2%	5.9%	0.0%	2.7%	0.0%	100.0%
31	29	170	4	0	5	0	208	13.9%	81.7%	1.9%	0.0%	2.4%	0.0%	100.0%
41	23	152	9	2	5	0	191	12.0%	79.6%	4.7%	1.0%	2.6%	0.0%	100.0%
42	26	137	11	1	7	0	182	14.3%	75.3%	6.0%	0.5%	3.8%	0.0%	100.0%
43	32	93	12	0	2	0	139	23.0%	66.9%	8.6%	0.0%	1.4%	0.0%	100.0%
44	60	123	38	13	8	1	243	24.7%	50.6%	15.6%	5.3%	3.3%	0.4%	100.0%
45	85	97	64	7	19	1	273	31.1%	35.5%	23.4%	2.6%	7.0%	0.4%	100.0%
46	140	118	61	0	28	4	351	39.9%	33.6%	17.4%	0.0%	8.0%	1.1%	100.0%
47	141	152	42	0	15	4	354	39.8%	42.9%	11.9%	0.0%	4.2%	1.1%	100.0%
48	137	58	4	5	249	4	457	30.0%	12.7%	0.9%	1.1%	54.5%	0.9%	100.0%
計	3,017	3,890	1,066	112	1,172	55	9,312	32.4%	41.8%	11.4%	1.2%	12.6%	0.6%	100.0%

統計表18. 抜去歯の状態別にみた抜歯数

年齢階級		健全	う蝕	充填	冠	無効 (複数 選択)	無回答	計
抜 歯 数	15歳未満	42	7	2	0	0	1	52
	15～19歳	76	35	2	1	0	1	115
	20～24歳	194	182	8	5	0	8	397
	25～29歳	145	284	18	16	0	2	465
	30～34歳	124	312	11	32	5	3	487
	35～39歳	64	194	24	71	2	3	358
	40～44歳	83	202	20	100	9	8	422
	45～49歳	92	229	40	196	5	3	565
	50～54歳	159	319	70	341	9	6	904
	55～59歳	224	371	94	431	15	11	1,146
	60～64歳	231	382	99	491	13	8	1,224
	65～69歳	172	356	82	451	9	19	1,089
	70～74歳	165	348	72	383	8	13	989
	75～79歳	72	193	32	288	4	3	592
	80～84歳	25	86	20	138	1	3	273
	85歳以上	21	37	7	62	0	5	132
	不明	30	44	13	45	1	7	140
計	1,919	3,581	614	3,051	81	104	9,350	
割 合	15歳未満	80.8%	13.5%	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
	15～19歳	66.1%	30.4%	1.7%	0.9%	0.0%	0.9%	100.0%
	20～24歳	48.9%	45.8%	2.0%	1.3%	0.0%	2.0%	100.0%
	25～29歳	31.2%	61.1%	3.9%	3.4%	0.0%	0.4%	100.0%
	30～34歳	25.5%	64.1%	2.3%	6.6%	1.0%	0.6%	100.0%
	35～39歳	17.9%	54.2%	6.7%	19.8%	0.6%	0.8%	100.0%
	40～44歳	19.7%	47.9%	4.7%	23.7%	2.1%	1.9%	100.0%
	45～49歳	16.3%	40.5%	7.1%	34.7%	0.9%	0.5%	100.0%
	50～54歳	17.6%	35.3%	7.7%	37.7%	1.0%	0.7%	100.0%
	55～59歳	19.5%	32.4%	8.2%	37.6%	1.3%	1.0%	100.0%
	60～64歳	18.9%	31.2%	8.1%	40.1%	1.1%	0.7%	100.0%
	65～69歳	15.8%	32.7%	7.5%	41.4%	0.8%	1.7%	100.0%
	70～74歳	16.7%	35.2%	7.3%	38.7%	0.8%	1.3%	100.0%
	75～79歳	12.2%	32.6%	5.4%	48.6%	0.7%	0.5%	100.0%
	80～84歳	9.2%	31.5%	7.3%	50.5%	0.4%	1.1%	100.0%
	85歳以上	15.9%	28.0%	5.3%	47.0%	0.0%	3.8%	100.0%
	不明	21.4%	31.4%	9.3%	32.1%	0.7%	5.0%	100.0%
計	20.5%	38.3%	6.6%	32.6%	0.9%	1.1%	100.0%	

統計表19. 抜去歯の状態の性別比較

	歯数		割合	
	男	女	男	女
健全	1,012	869	22.0%	19.3%
う蝕	1,811	1,724	39.4%	38.3%
充填	325	275	7.1%	6.1%
冠	1,400	1,602	30.5%	35.6%
無効	47	33	1.0%	0.7%
計	4,595	4,503	100.0%	100.0%

統計表20. 抜去歯の状態(歯別)

抜歯部位	抜去歯の状態											
	本数						割合					
	健全	う蝕	充填	冠	無効	計	健全	う蝕	充填	冠	無効	計
18	126	315	18	11	1	471	26.8%	66.9%	3.8%	2.3%	0.2%	100.0%
17	48	124	43	109	4	328	14.6%	37.8%	13.1%	33.2%	1.2%	100.0%
16	27	118	23	120	4	292	9.2%	40.4%	7.9%	41.1%	1.4%	100.0%
15	39	95	18	132	4	288	13.5%	33.0%	6.3%	45.8%	1.4%	100.0%
14	63	99	26	110	4	302	20.9%	32.8%	8.6%	36.4%	1.3%	100.0%
13	31	94	15	115	3	258	12.0%	36.4%	5.8%	44.6%	1.2%	100.0%
12	40	82	11	133	1	267	15.0%	30.7%	4.1%	49.8%	0.4%	100.0%
11	41	72	11	119	2	245	16.7%	29.4%	4.5%	48.6%	0.8%	100.0%
21	52	59	15	130	2	258	20.2%	22.9%	5.8%	50.4%	0.8%	100.0%
22	42	75	14	109	2	242	17.4%	31.0%	5.8%	45.0%	0.8%	100.0%
23	23	92	14	111	2	242	9.5%	38.0%	5.8%	45.9%	0.8%	100.0%
24	48	110	25	106	2	291	16.5%	37.8%	8.6%	36.4%	0.7%	100.0%
25	25	126	16	116	3	286	8.7%	44.1%	5.6%	40.6%	1.0%	100.0%
26	31	105	25	135	2	298	10.4%	35.2%	8.4%	45.3%	0.7%	100.0%
27	37	125	30	133	4	329	11.2%	38.0%	9.1%	40.4%	1.2%	100.0%
28	119	291	19	15	3	447	26.6%	65.1%	4.3%	3.4%	0.7%	100.0%
38	213	220	28	27	2	490	43.5%	44.9%	5.7%	5.5%	0.4%	100.0%
37	24	144	36	172	3	379	6.3%	38.0%	9.5%	45.4%	0.8%	100.0%
36	16	131	20	134	7	308	5.2%	42.5%	6.5%	43.5%	2.3%	100.0%
35	38	98	15	118	4	273	13.9%	35.9%	5.5%	43.2%	1.5%	100.0%
34	40	82	13	77	1	213	18.8%	38.5%	6.1%	36.2%	0.5%	100.0%
33	42	48	10	61	0	161	26.1%	29.8%	6.2%	37.9%	0.0%	100.0%
32	72	60	12	39	0	183	39.3%	32.8%	6.6%	21.3%	0.0%	100.0%
31	100	56	15	36	1	208	48.1%	26.9%	7.2%	17.3%	0.5%	100.0%
41	113	33	13	29	0	188	60.1%	17.6%	6.9%	15.4%	0.0%	100.0%
42	72	35	15	56	1	179	40.2%	19.6%	8.4%	31.3%	0.6%	100.0%
43	30	43	11	51	2	137	21.9%	31.4%	8.0%	37.2%	1.5%	100.0%
44	53	84	20	86	0	243	21.8%	34.6%	8.2%	35.4%	0.0%	100.0%
45	33	112	11	115	2	273	12.1%	41.0%	4.0%	42.1%	0.7%	100.0%
46	18	137	28	160	4	347	5.2%	39.5%	8.1%	46.1%	1.2%	100.0%
47	35	138	22	148	8	351	10.0%	39.3%	6.3%	42.2%	2.3%	100.0%
48	226	175	21	32	3	457	49.5%	38.3%	4.6%	7.0%	0.7%	100.0%
計	1,917	3,578	613	3,045	81	9,234	20.8%	38.7%	6.6%	33.0%	0.9%	100.0%

統計表 2.1 . 歯髓の状態別にみた抜歯数

年齢階級		有髓	無髓・ 根充なし	無髓・ 根充あり	無効 (複数 選択)	無回答	計
抜 歯 数	15歳未満	45	4	0	0	3	52
	15～19歳	89	17	6	0	3	115
	20～24歳	332	28	25	0	12	397
	25～29歳	344	66	52	0	3	465
	30～34歳	303	104	77	1	2	487
	35～39歳	162	73	115	0	8	358
	40～44歳	181	88	145	1	7	422
	45～49歳	184	124	252	0	5	565
	50～54歳	317	146	434	0	7	904
	55～59歳	385	199	544	0	18	1,146
	60～64歳	403	187	609	3	22	1,224
	65～69歳	291	196	581	3	18	1,089
	70～74歳	255	184	536	2	12	989
	75～79歳	123	97	363	0	9	592
	80～84歳	53	49	164	1	6	273
	85歳以上	35	21	70	0	6	132
不明	51	24	57	0	8	140	
計	3,553	1,607	4030	11	149	9,350	
割 合	15歳未満	86.5%	7.7%	0.0%	0.0%	5.8%	100.0%
	15～19歳	77.4%	14.8%	5.2%	0.0%	2.6%	100.0%
	20～24歳	83.6%	7.1%	6.3%	0.0%	3.0%	100.0%
	25～29歳	74.0%	14.2%	11.2%	0.0%	0.6%	100.0%
	30～34歳	62.2%	21.4%	15.8%	0.2%	0.4%	100.0%
	35～39歳	45.3%	20.4%	32.1%	0.0%	2.2%	100.0%
	40～44歳	42.9%	20.9%	34.4%	0.2%	1.7%	100.0%
	45～49歳	32.6%	21.9%	44.6%	0.0%	0.9%	100.0%
	50～54歳	35.1%	16.2%	48.0%	0.0%	0.8%	100.0%
	55～59歳	33.6%	17.4%	47.5%	0.0%	1.6%	100.0%
	60～64歳	32.9%	15.3%	49.8%	0.2%	1.8%	100.0%
	65～69歳	26.7%	18.0%	53.4%	0.3%	1.7%	100.0%
	70～74歳	25.8%	18.6%	54.2%	0.2%	1.2%	100.0%
	75～79歳	20.8%	16.4%	61.3%	0.0%	1.5%	100.0%
	80～84歳	19.4%	17.9%	60.1%	0.4%	2.2%	100.0%
	85歳以上	26.5%	15.9%	53.0%	0.0%	4.5%	100.0%
不明	36.4%	17.1%	40.7%	0.0%	5.7%	100.0%	
計	38.0%	17.2%	43.1%	0.1%	1.6%	100.0%	

統計表 2.2 . 抜去歯の歯髓の状態(性別比較)

歯髓の状態	歯数		割合	
	男	女	男	女
有髓	1,926	1,567	42.1%	35.0%
無髓・根充なし	818	763	17.9%	17.0%
無髓・根充あり	1,829	2,140	40.0%	47.8%
無効	2	9	0.0%	0.2%
計	4,575	4,479	100.0%	100.0%

統計表23. 抜去歯の歯髓の状態(歯別)

抜歯部位	歯髓(抜去歯)の状態									
	本数					割合				
	有髓	無髓・ 根充なし	無髓・ 根充あり	無効	計	有髓	無髓・ 根充なし	無髓・ 根充あり	無効	計
18	404	42	24	1	471	85.8%	8.9%	5.1%	0.2%	100.0%
17	109	74	145	0	328	33.2%	22.6%	44.2%	0.0%	100.0%
16	58	72	155	0	285	20.4%	25.3%	54.4%	0.0%	100.0%
15	67	46	172	0	285	23.5%	16.1%	60.4%	0.0%	100.0%
14	90	77	133	0	300	30.0%	25.7%	44.3%	0.0%	100.0%
13	46	36	175	1	258	17.8%	14.0%	67.8%	0.4%	100.0%
12	70	36	157	1	264	26.5%	13.6%	59.5%	0.4%	100.0%
11	61	37	147	0	245	24.9%	15.1%	60.0%	0.0%	100.0%
21	72	31	155	0	258	27.9%	12.0%	60.1%	0.0%	100.0%
22	60	34	149	0	243	24.7%	14.0%	61.3%	0.0%	100.0%
23	34	47	162	0	243	14.0%	19.3%	66.7%	0.0%	100.0%
24	71	67	147	0	285	24.9%	23.5%	51.6%	0.0%	100.0%
25	50	81	150	1	282	17.7%	28.7%	53.2%	0.4%	100.0%
26	64	66	168	1	299	21.4%	22.1%	56.2%	0.3%	100.0%
27	85	89	156	0	330	25.8%	27.0%	47.3%	0.0%	100.0%
28	383	37	22	1	443	86.5%	8.4%	5.0%	0.2%	100.0%
38	394	48	48	0	490	80.4%	9.8%	9.8%	0.0%	100.0%
37	74	79	224	1	378	19.6%	20.9%	59.3%	0.3%	100.0%
36	38	84	189	0	311	12.2%	27.0%	60.8%	0.0%	100.0%
35	64	60	150	0	274	23.4%	21.9%	54.7%	0.0%	100.0%
34	57	46	109	0	212	26.9%	21.7%	51.4%	0.0%	100.0%
33	62	24	73	0	159	39.0%	15.1%	45.9%	0.0%	100.0%
32	94	28	57	0	179	52.5%	15.6%	31.8%	0.0%	100.0%
31	128	19	58	0	205	62.4%	9.3%	28.3%	0.0%	100.0%
41	127	18	42	1	188	67.6%	9.6%	22.3%	0.5%	100.0%
42	90	20	70	1	181	49.7%	11.0%	38.7%	0.6%	100.0%
43	50	19	67	0	136	36.8%	14.0%	49.3%	0.0%	100.0%
44	78	42	120	0	240	32.5%	17.5%	50.0%	0.0%	100.0%
45	70	50	146	1	267	26.2%	18.7%	54.7%	0.4%	100.0%
46	55	73	218	1	347	15.9%	21.0%	62.8%	0.3%	100.0%
47	85	78	189	0	352	24.1%	22.2%	53.7%	0.0%	100.0%
48	359	44	48	0	451	79.6%	9.8%	10.6%	0.0%	100.0%
計	3,549	1,604	4,025	11	9,189	38.6%	17.5%	43.8%	0.1%	100.0%

統計表24. インフォームドコンセントの分布

	歯数	割合
容易	8,927	95.5%
困難	246	2.6%
無効	1	0.0%
無回答	176	1.9%
計	9,350	100.0%

統計表25. 現在歯数と抜歯原因の関連(年齢階級別)

年齢階級	現在歯数	人数						割合						p値 (² 検定)		
		う蝕	歯周病	破折	矯正	その他	不明	Total	う蝕	歯周病	破折	矯正	その他		不明	Total
25歳未満	1~9歯	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	0.000
	10~19歯	0	0	0	4	0	0	4	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	20~23歯	1	0	0	8	1	0	10	10.0%	0.0%	0.0%	80.0%	10.0%	0.0%	100.0%	
	24~27歯	22	3	3	44	22	0	94	23.4%	3.2%	3.2%	46.8%	23.4%	0.0%	100.0%	
	28~32歯	141	9	7	19	247	0	423	33.3%	2.1%	1.7%	4.5%	58.4%	0.0%	100.0%	
	Total	164	12	10	75	270	0	531	30.9%	2.3%	1.9%	14.1%	50.8%	0.0%	100.0%	
25~34歳	1~9歯	4	0	0	0	1	2	7	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	100.0%	0.000
	10~19歯	5	2	0	0	1	0	8	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	
	20~23歯	18	6	3	0	2	0	29	62.1%	20.7%	10.3%	0.0%	6.9%	0.0%	100.0%	
	24~27歯	84	9	10	10	43	4	160	52.5%	5.6%	6.3%	6.3%	26.9%	2.5%	100.0%	
	28~32歯	357	26	26	5	319	0	733	48.7%	3.5%	3.5%	0.7%	43.5%	0.0%	100.0%	
	Total	468	43	39	15	366	6	937	49.9%	4.6%	4.2%	1.6%	39.1%	0.6%	100.0%	
35~44歳	1~9歯	4	9	0	0	0	0	13	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.000
	10~19歯	22	25	5	0	1	0	53	41.5%	47.2%	9.4%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%	
	20~23歯	42	32	13	0	12	0	99	42.4%	32.3%	13.1%	0.0%	12.1%	0.0%	100.0%	
	24~27歯	99	58	38	0	33	0	228	43.4%	25.4%	16.7%	0.0%	14.5%	0.0%	100.0%	
	28~32歯	178	47	33	7	96	3	364	48.9%	12.9%	9.1%	1.9%	26.4%	0.8%	100.0%	
	Total	345	171	89	7	142	3	757	45.6%	22.6%	11.8%	0.9%	18.8%	0.4%	100.0%	
45~54歳	1~9歯	12	80	2	0	3	0	97	12.4%	82.5%	2.1%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%	0.000
	10~19歯	87	216	32	0	14	0	349	24.9%	61.9%	9.2%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%	
	20~23歯	109	131	48	0	19	2	309	35.3%	42.4%	15.5%	0.0%	6.1%	0.6%	100.0%	
	24~27歯	161	192	70	0	33	5	461	34.9%	41.6%	15.2%	0.0%	7.2%	1.1%	100.0%	
	28~32歯	91	62	26	0	41	2	222	41.0%	27.9%	11.7%	0.0%	18.5%	0.9%	100.0%	
	Total	460	681	178	0	110	9	1,438	32.0%	47.4%	12.4%	0.0%	7.6%	0.6%	100.0%	
55~64歳	1~9歯	69	182	13	0	5	6	275	25.1%	66.2%	4.7%	0.0%	1.8%	2.2%	100.0%	0.000
	10~19歯	214	526	77	0	15	1	833	25.7%	63.1%	9.2%	0.0%	1.8%	0.1%	100.0%	
	20~23歯	133	253	73	0	29	11	499	26.7%	50.7%	14.6%	0.0%	5.8%	2.2%	100.0%	
	24~27歯	133	235	111	1	36	3	519	25.6%	45.3%	21.4%	0.2%	6.9%	0.6%	100.0%	
	28~32歯	61	82	30	1	16	3	193	31.6%	42.5%	15.5%	0.5%	8.3%	1.6%	100.0%	
	Total	610	1,278	304	2	101	24	2,319	26.3%	55.1%	13.1%	0.1%	4.4%	1.0%	100.0%	
65~74歳	1~9歯	133	235	32	0	20	0	420	31.7%	56.0%	7.6%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%	0.000
	10~19歯	260	476	120	0	41	3	900	28.9%	52.9%	13.3%	0.0%	4.6%	0.3%	100.0%	
	20~23歯	88	172	71	0	14	1	346	25.4%	49.7%	20.5%	0.0%	4.0%	0.3%	100.0%	
	24~27歯	73	118	57	0	19	1	268	27.2%	44.0%	21.3%	0.0%	7.1%	0.4%	100.0%	
	28~32歯	28	31	10	0	8	0	77	36.4%	40.3%	13.0%	0.0%	10.4%	0.0%	100.0%	
	Total	582	1,032	290	0	102	5	2,011	28.9%	51.3%	14.4%	0.0%	5.1%	0.2%	100.0%	
75歳以上	1~9歯	105	209	36	0	16	3	369	28.5%	56.6%	9.8%	0.0%	4.3%	0.8%	100.0%	0.031
	10~19歯	107	203	57	0	15	2	384	27.9%	52.9%	14.8%	0.0%	3.9%	0.5%	100.0%	
	20~23歯	29	61	16	0	3	0	109	26.6%	56.0%	14.7%	0.0%	2.8%	0.0%	100.0%	
	24~27歯	23	32	16	0	4	1	76	30.3%	42.1%	21.1%	0.0%	5.3%	1.3%	100.0%	
	28~32歯	9	6	9	0	0	0	24	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Total	273	511	134	0	38	6	962	28.4%	53.1%	13.9%	0.0%	4.0%	0.6%	100.0%	

統計表26. 患者あたり抜歯数と現在歯数の関係(年齢階級別)

現在歯数		45歳未満	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
平均値	1～9歯	1.43	1.43	1.42	1.52	1.46
	10～19歯	1.45	1.45	1.48	1.42	1.39
	20～23歯	1.24	1.24	1.26	1.23	1.20
	24～27歯	1.15	1.15	1.12	1.14	1.38
	28～32歯	1.07	1.07	1.08	1.05	1.14
	Total	1.23	1.23	1.29	1.34	1.38
SD	1～9歯	1.25	0.65	0.72	0.89	0.77
	10～19歯	0.68	0.92	0.89	0.82	0.87
	20～23歯	0.65	0.62	0.67	0.54	0.48
	24～27歯	0.35	0.47	0.41	0.48	1.06
	28～32歯	0.24	0.28	0.31	0.23	0.48
	Total	0.34	0.62	0.69	0.74	0.80
p値	1元ANOVA	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	2元ANOVA					
	年齢	0.891				
	現在歯数	0.000				
	Adj R ²	0.066				

8 . 資料

8. 資料

資料 1 : 調査票 54

資料 2 : 調査票の記入要領 58

永久歯の抜歯原因調査

財団法人 8020推進財団

貴医院と院長先生についてお伺いします

貴医院の所在地	都・道 府・県	貴医院の標榜科名 (複数回答可)	1. 歯科 2. 矯正歯科 3. 小児歯科 4. 歯科口腔外科
院長先生の性別	1. 男性 2. 女性	院長先生の年齢	歳
貴医院の費用	貴医院の歯科医師数	貴医院の歯科衛生士数	人

常勤の人数を御記入ください

調査期間中の日付別に、診療の有無、調査実施の有無、来院総患者数を御記入ください

	2月1日 (火)	2月2日 (水)	2月3日 (木)	2月4日 (金)	2月5日 (土)	2月6日 (日)	2月7日 (月)
診療の有無 (当てはまるものに)	診療日 休止日	診療日 休止日	診療日 休止日	診療日 休止日	診療日 休止日	診療日 休止日	診療日 休止日
調査実施の有無 (あり、×なし)							
来院総患者数	人	人	人	人	人	人	人

調査を実施できなかったり忘れられた場合に×を御記入ください。なお、抜歯症例がなかった日は ですので、御注意ください。

本調査は、永久歯のみを調査対象とします。抜歯を行った患者のイニシャル、性・年齢、居住地、および抜歯開始前の現在歯数を記入し、抜歯部位、抜歯が行われた日付を記入して下さい。

抜歯後、抜歯に至った「主原因」を1つ選び、印をつけて下さい。同様に歯の状態、歯髄の状態、インフォームドコンセントの状況も 印をつけて下さい。

抜歯1本について1行ずつ御記入ください。複数歯を抜歯した時は、1行に1歯ずつ記載して下さい。なお、現在歯数は抜歯開始直前の状態を記入して下さい。

【記入例】

調査期間(2005年2月1日～2月7日)における抜歯症例の有無

ありなし

抜歯症例がなかった場合は、「なし」をつけて、本調査票を御返送ください。以下の欄は記入していただく必要なく結構です。本調査では、「抜歯なし」も貴重な情報として扱いますので、お忘れなくお願いいたします。

No	抜歯が行われた日付	患者の属性 (注1)			抜歯前の現在歯数と床義歯の状態 (注2)	抜歯部位	抜歯に至った主原因				抜去歯の状態		インフォームドコンセント		特記事項		
		イニシャル (姓名)	性別	年齢			居住地	現在歯	床義歯	上顎	下顎	健全	処置	有髄		無髄	容易
記入例 1	2月1日 (火) 曜日	Y.A	男・女	46	都 道 府 県 市 区 町 村	16 本	なし PD FD	14 本	なし PD FD	1	—	—	—	—	—	—	—
記入例 2	2月2日 (水) 曜日	A.B	男・女	65	都 道 府 県 市 区 町 村	0 本	なし PD FD	8 本	なし PD FD	7	—	—	—	—	—	—	1
記入例 3	2月 () 曜日		男・女		都 道 府 県 市 区 町 村		なし PD FD		なし PD FD	6	—	—	—	—	—	—	1
記入例 4	2月3日 (木) 曜日	C.D	男・女	59	都 道 府 県 市 区 町 村	12 本	なし PD FD	10 本	なし PD FD	5	—	—	—	不明	—	—	—
記入例 5	2月7日 (月) 曜日	A.B	男・女		都 道 府 県 市 区 町 村		なし PD FD		なし PD FD	1	—	—	—	—	—	—	1

同一人物

(注1) 同一患者に対して複数歯を抜歯した場合は、患者属性は最初の記入欄だけ書いていただければ結構です。

(注2) 複数歯を抜歯した場合は、最初の抜歯直前の状態を御記入ください。

【抜歯症例の記入欄-1(1~10)】

調査期間(2005年2月1日~2月7日)における抜歯症例の有無

あり、なし

抜歯症例がなかった場合は、「なし」をつけて、本調査票を御返送ください。以下の欄は記入していただくがなくて結構です。本調査では、「抜歯なし」も貴重な情報として扱いますので、お忘れなくお願いいたします。

No	抜歯が行われた日付	患者の属性 ^[注1]			抜歯前の現在歯数と床義歯の状態 ^[注2]			抜歯部位	抜歯に至った主原因			抜歯歯の状態		抜去歯の状態		特記事項											
		イニシャル(姓名)	性別	年齢	居住地	上顎	下顎		現在歯	床義歯	C	P	H	セ	矯正		その他	健全	C	処置	有髄	無髄	根充	あり	困難	容易	
1	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—	C	P	H	セ	矯正	その他	健全	C	処置	有髄	無髄	根充	あり			
2	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
3	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
4	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
5	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
6	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
7	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
8	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
9	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																
10	2月 日 ()曜日		男・女		都道 府・県	市・区 町・村	なし PD FD	本	なし PD FD	本	—																

[注1] 同一患者に対して複数歯を抜歯した場合は、患者属性は最初の記入欄だけ書いていただければ結構です。

[注2] 複数歯を抜歯した場合は、最初の抜歯直前の状態を御記入ください。

【抜歯症例の記入欄- 2 (11 ~ 20)】

No	患者の属性 ^(注1)			抜歯前の現在歯数と床義歯の状態 ^(注2)		抜歯部位	抜歯に至った主要原因			抜去歯の状態		抜去歯の状態		特記事項
	抜歯が行われた日付	イニシャル(姓名)	性別	年齢	居住地		上顎	下顎	健全	C	処置	有髄	無髄	
11	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
12	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
13	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
14	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
15	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
16	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
17	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
18	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
19	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							
20	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本							

〔注1〕同一患者に対して複数歯を抜歯した場合は、患者属性は最初の記入欄だけ書いていただければ結構です。

〔注2〕複数歯を抜歯した場合は、最初の抜歯直前の状態を御記入ください。

【抜歯症例の記入欄-3 (21~30)】

No	患者の属性 ^(注1)			抜歯前の現在歯数と床義歯の状態 ^(注2)		抜歯部位	抜歯に至った主要原因			抜去歯の状態		抜去歯の状態		インフォームド コンセント	特記事項	
	抜歯が行われた日付	イニシャル (姓名)	性別	年齢	居住地		上顎	下顎	健全	C	処置	有髄	無髄			容易
21	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
22	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
23	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
24	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
25	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
26	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
27	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
28	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
29	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									
30	2月 日 ()曜日		男・女		都 道 府 県 市・区 町・村	なし PD FD 本	なし PD FD 本									

〔注1〕同一患者に対して複数歯を抜歯した場合は、患者属性は最初の記入欄だけ書いていただければ結構です。

〔注2〕複数歯を抜歯した場合は、最初の抜歯直前の状態を御記入ください。

記 入 要 領

調査票への記入全般について

- ・調査票は1 歯科医院 1 枚です。
調査票が足りなくなった場合は、8020推進財団事務局(連絡先後述)にお問い合わせください。或いは、調査票の必要部分をコピーしていただいても結構です。
- ・調査期間は、2月1日(火)～2月7日(月)の計7日間(1週間)です。
診療日が休診日かを調査票1頁右上の記入欄(診療の有無)に御記入ください。
この期間中に調査を実施した日は抜歯症例の有無にかかわらず、調査票1頁右上の記入欄(調査実施の有無)に を御記入ください。調査実施を忘れてしまった日(たとえば抜歯症例はあったが詳細を忘れたような場合)は×を御記入ください。
- ・貴医院に複数の歯科医師が勤務している場合は、院長先生の抜歯症例だけではなく、医院としての全抜歯症例を調査票に御記入ください。
- ・抜歯症例が調査期間中になかった場合は、「抜歯症例の有無」の「なし」に をつけて、必ず御返送ください^[注1]。
- ・抜歯症例のうち、調査項目の一部を忘れてしまい記入できない場合、その項目の記入欄に斜線(/)を大きく引くか「不明」と御記入ください(調査票の記入例を参照)。一部の情報がそろっていても、調査票には必ず記入するようにしてください。

抜歯症例の記入方法について

- ・抜歯症例の記入欄は、1本の抜歯を1症例として扱いますので、抜歯1本について1行ずつ御記入ください。同一の患者さんから複数の歯を抜歯した場合は、それぞれの歯について1行ずつ御記入ください(調査票の記入例を参照)。
- ・「患者の属性」について
 - 「イニシャル(姓名)」の記入欄には、患者さんの姓名をそのまま記載するのではなく、イニシャルを御記入ください。
「イニシャル」は患者さんが同一人物であるか否かを識別する情報^[注2]として用いますので、姓名を正確に反映したものでなくても結構です。同一イニシャルで別人の患者さんがいる場合は、同一個人か否かを識別できるように御記入ください。どのような方法でも結構です。
 - 同一の患者さんから複数歯を抜歯した場合、「患者の属性」に関する情報は、その患者さんに関して最初の記入欄のみ御記入ください(調査票の記入例を参照)。
調査期間中に同一患者が別々の日に抜歯処置を受けた場合も、同様に「患者の属性」は最初の記入欄のみ御記入ください。また、調査票には同一個人であることがわかるように記載してください(調査票の記入例を参照)。
 - 患者さんの「居住地」は、保険証に記載されている都道府県および市区町村名を御記入ください。
この情報は非常に重要ですので、お忘れなくお願いします^[注3]

[注1] 抜歯症例がなかった場合でも調査票を送っていただく理由は、本調査では一定期間中における歯牙喪失(抜歯)の発生率を明らかにすることを主目的の1つとしているため、「抜歯がなかった」ことも重要な情報となるためです。

[注2] 同一個人か否かを識別する情報が必要なのは、本調査では患者さん1人あたりの抜歯本数を調べることを調査目的の1つとしているためです。

[注3] 患者さんの居住地(都道府県、市区町村)の情報が重要である理由は、本調査では一定期間中の歯牙喪失(抜歯)の発生率について地域差を比較することを調査目的の1つとしているためです。

- ・「抜歯前の現在歯数と義歯の状態」について
 - 調査期間中における一番最初の抜歯を行う直前の情報を御記入ください。2回目の抜歯以降の記入欄には必要ありません。
 - 残根は現在歯に含めます。
- ・「抜歯部位」について
 - 本調査の対象歯は永久歯のみです。乳歯の抜歯症例は記載しないようにしてください。
 - 記入欄には複数の歯を記入しないように御注意ください。
- ・「抜歯に至った原因」について
 - 5つの選択肢（C、P、ハセツ、矯正、その他）のうち、主な原因と考えられるものを1つだけ選び、 を御記入ください。「その他」に該当する場合、記入は のみで結構です。内容まで記入していただく必要はありません。
- ・「抜去歯の状態」について
 - 抜去した歯の状態について4つの選択肢（健全、C、処置・充填、処置・冠^[注4]）のうち、抜歯前の歯の状態として最も当てはまるものを1つだけ選び、 を御記入ください。
- ・「抜去歯の歯髄の状態」について
 - 抜去歯をみて、3つの選択肢（有髄、無髄・根充あり、無髄・根充なし）のうち、当てはまるものを1つだけ選び、 を御記入ください。
- ・「インフォームドコンセント」について
 - 抜歯処置に対する同意が容易に得られたか或いは困難であったかという点について、当てはまるものを1つだけ選び、 を御記入ください^[注5]。
 - それぞれの歯について御記入ください。
- ・「特記事項」は、とくに説明を要するものがあれば御記入ください。
 - 例) ヘミセクションの場合（ヘミセクションは抜歯症例に含めます）
同一患者から複数歯の抜歯を複数日に行った場合など

調査期間終了後、大変恐縮ですが調査票の見直しをしていただき、

2月14日(月)までに、同封の返信用封筒にてご投函くださいますようお願い申し上げます。

～ 以上ですが、御不明な点がありましたら、下記宛にお問い合わせください。～

<p>8 0 2 0 推進財団事務局 (Tel) 03-3512-8020 (Fax) 03-3511-7088 (mail) 8020@8020zaidan.or.jp</p>
--

[注4] 根面キャップ(根面板)は、「冠」に分類します。

[注5] 容易/困難の判断は、主観的な判断で結構です。